

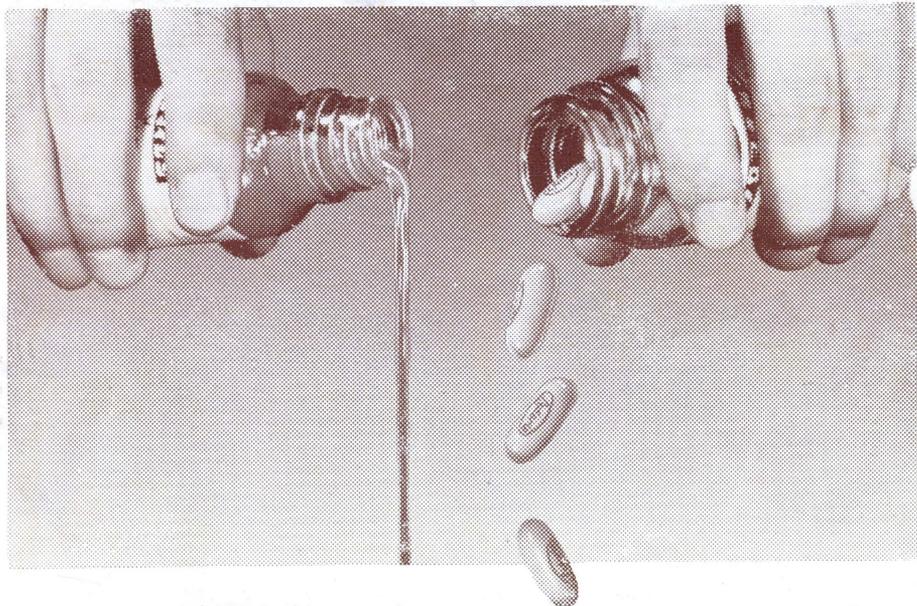
故郷



別館正面

創刊号

慶応義塾大学医学部
整形外科同窓会会誌



広範囲抗生剤として

真価を発揮する

アクロマイシンVライ
 は、テトラサイクリン
 塩基にリン酸塩を配合し
 て、更に吸収をよくし
 速かに高い血中濃度を
 現わすようにつくった
 新製剤です。

肺炎・気管支炎
 咽頭炎・中耳炎
 百日咳・淋疾
 尿路感染症・赤痢
 骨髄炎・腹膜炎など

新抗生剤（テトラサイクリン塩基十リン酸塩）

カプセル 三〇mg 四入・二入・一〇入 五〇mg 一〇入・五入
 シロップ 一cc 中三〇mg 三〇cc (匙添付) 六〇cc (匙添付) 三〇cc

ア ク ロ マ イ シ ン V

ほかに：アクロマイシンには次の種類があります

- ★救急の場合に静注用一〇〇mg・三〇mg・五〇mg 筋注用一〇〇mg
- ★トラコーマ・眼疾患に 油性点眼液・眼科用軟膏
- ★トローチ・軟膏・スパーソイド・耳科用・末節微粉末



Lederte

大阪市道修町

武田薬品工業

提携 日本レダリー

(V13)



ILOTYCIN

アイロタイシン は次の特長をもつ新抗生物質です
☆耐性菌が少なく、種々の疾患に少量で的確に奏効します。
☆特にグラム陽性菌には強い抗菌力があり、ペニシリン適応症に適しています。
☆シヨックなどの重大な副作用がなく、ビタミン欠乏症、カンジダ症のおそれのない安全な抗生物質です

アイロタイシン は次のような疾病にお使い下さい。
肺炎・気管支炎・扁桃腺炎・咽頭炎・百日咳・シフテリア・猩紅熱・中耳炎・梅毒・淋疾・トラコーマ・皮膚化膿症・外科感染症など

アイロタイシン には次のような製剤があります。
100mg錠 — 普通1日量8~12錠を4~6時間毎に分割投与する。
懸濁用 (2.4g) 点滴内服用 (1.0g) — 普通小児には体重1kg当り8mgを6時間毎に投与する。ミルクや水と服用してもよい。
静注用 (250mg) 緊急時または内服不能の場合に好適
1%軟膏 (1/2オンス) — 1日2~4回ガーゼに塗つて貼布する。
0.5% 眼軟膏 (1/8オンス) — 1日1~数回結膜囊に点入する。
耳科用 ポリミキシンB配合 — 患耳を清拭し乾燥後適量を1日1~数回点耳する。

〔**健
保
適
用**〕



シオノギ

大阪市東区道修町 塩野義製薬株式会社



故郷

慶応義塾大学医学部
整形外科同窓会誌

創刊号

ふるさとの……前田和三郎……(1)

与えられた職場に忠実なれ……前田和三郎……(2)

巻頭言……岩原寅猪……(3)

わが教室のあゆみ……小泉次郎……(4)

整形外科同窓会誌発刊を祝して……小泉次郎……(8)

寄稿

稿

忘れ難い予科時代の恩師……小泉次郎……(10)

村山にて……久保義信……(11)

小児病院の構想……左奈田幸夫……(12)

足跡……小柴清定……(13)

追憶……遠山一郎……(14)

あの時の想出……白田正雄……(15)

アメリカの力便り……藤野豊美……(18)



【グラビヤ】写真帳より……………高橋昭 (22)

教室だより……………木住野喜義 (28)

アンケート…………… (29)

関口林五郎・柄原潤・山内吉雄・弓削中・白田正雄・成内頼三郎
 竜野一雄・野崎寛三・島中卓助・小泉次郎・加納保之・中井慎一
 遠山一郎・大沼良雄・篠原勝・鈴木正弘・井上雅夫・久保義信
 野間清邦・野間千賀子・浅葉義一・飛彈清英・小林録郎・春日秀彦
 武田智

……り方便地方……

神奈川地方…………… (32)

群馬地方…………… (34)

富山地方…………… (35)

福井地方…………… (36)

山梨地方…………… (36)

長野地方…………… (36)

四国地方…………… (37)

同窓会々員名簿…………… (38)

編集後記…………… (54)

外科的処置に最適の粘着力

ニチバン

日本薬局方

絆創膏

皮膚炎防止性 クリームラスタ
伸縮防水性 ニチバンビニールバン
簡易処置用 ネオバン

セロテープ



ニチバン 日絆薬品工業株式会社

東京 大阪 名古屋 福岡 札幌



心
る
た
た



与えられた職場に忠実なれ

前 田 和 三 郎

自分は慶応に来てから満三十年を越した。又熊本時代を加えると教育者として満三十三年を過した。何等悔い所はない。

その間、興えられた職場で忠実に全力を尽して働いた。顧みると悪いと思つた事が案外良い結果をもたらし、良いと思つた事が悪かつたことがある。皆さんあまり目前の事に打算的であつてはならぬ。

自分は京大の助手時代、胸部の外科をやりたいと思つておつたが、当時の先生方の御すすめで、熊本医大へ行って整形外科を創設することになった。自分としてはあまり満足はしておらなかつたが、一生懸命にやつた。それが認められて慶応へ出て来る機会を得ることとなった。

慶応へ出て来て見ると整形外科教室の状態は学問的にも、その他の点においてもかなりひどい姿であつた。それまで標榜していた整形接骨科という科名を整形外科と改め、四、五年は全く夢中になつて働いた。

自分は度々混乱の中に飛び込まされる運命を持つてゐるようだ。然し整形外科教室を再建し、多くの人材を出し、脊髄外科という大きな領域を整形外科に持ち込むことが出来たので、今から振り返つてみると愉快である。終戦後外科教室の再建、立川病院の再建等々があるが、幸に順調に運ぶことが出来た。

慶応義塾停年制の確立と共に近く停年退職することとなるが、此後も皆さんの成長を楽しく眺めたいと思つてゐる。

卷頭言

岩 原 寅 猪

われわれの教室も前田友助、前田和三郎先生を経ていま三代目であり、開講して四十年ぢかくたつ。そしてその間教室で勉強した人も少くない。二十年ほどの間外科と医局を共にし、同窓会を一つにしていたせいか記録らしいものもかつてもつたことがないままでき、医局が分かれ同窓会が別になつてもそのままで十余年を過してきた。それがこの度機が熟しようやく自分達の会誌をもつようになった。クふるさとといふ前田和三郎先生のご命名である。めでたくうれしいことである。

どこの家でも少しは記録らしいものがあっていいはずである。われわれの教室は既にかなり古く、かなり大きいものであるのに今まで全く記録らしいものを持っていないのはむしろ不思議である。クふるさとが生れようやく世間並になつたような気がする。せつかく生れたものは丈夫に育てなければならぬ。同窓会は教室と表裏一体をなすものである。同窓会、教室とともにクふるさとが生々發展することを望んでやまない。

わが教室のあゆみ

一、梗概

医学部創立当初、整形外科は未だ独立せず、外科の一部として桂秀三

講師が整形外科方面を担当し、大正十年十二月十一日に至り整形外科は外科より分立し、医局も漸次独立するようになった。大正十一年六月十六日前田友助教授新任、当時の整形接骨科の主任となり、桂助教授と共に今日の基礎を作った。昭和二年九月前田友助教授、昭和三年十一月桂助教授相次いで辞任、昭和三年十二月前田和三助教授新任し、整形外科と改称した。而して医局は外科と同一世帯となり、助手は再び外科と共通となり、外科及び整形外科志望の助手は一年間は交替で両科の助手をなし、その後始めて志望科に専属することになった。

昭和五年当時の整形外科職員は教授前田和三郎、講師前田友助、岩原寅猪、助手堀田善二郎、嘱託野村久吾、他に外科医局と交代勤務助手数名であった。

これより先き整形外科手術室、ギブス室、マッサージ室、義肢研究室、ザンデルの整形外科器械室等が整備され、更に昭和十一年七月中旬整形外科器械室の一部に整形外科保育園を設立し、小児の病院に対する恐怖心を忘れさせ、喜びながら充分に治療を続

け得るようにした。正に当時としては画期的なものであった。斯くして本学整形外科は常に独自の立場において基礎を固め、当時の数算い官学の整形外科に対抗して努力が続けられ、遂に私学の雄としての名声と実力とを兼ね備えるに至ったのである。

昭和十二年七月蘆溝橋に端を發した日支事変は次第に拡大、昭和十六年十二月八日の第二次世界大戦へと發展しその止まることを知らず、遂に昭和二十年八月十五日の終戦によって幕を閉じたことはあまりにも悲惨な想い出ではあるが、此の間教室も祖国の運命を共に担い、苦難を分かち合ったと言わざるを得ない。戦争の激化と共に教室員も多数応召されて戦場に向い、数多い戦死者を出し、後に残る僅かの教室員も辛酸を舐めあつて文字通り孤城を守ったのである。昭和二十年五月戦災のため斯界に誇った諸施設は全く灰燼に帰し、一同暗憺たるうちに終戦を迎えた。終戦直後の疲弊せるうちに昭和二十一年九月十五日前田和三郎教授外科教授として転科、同年十年七日岩原寅猪教授昇任し、再建の意気高く復興へと立上ったのである。

昭和二十一年十月の岩原寅猪教授の新任を期とし、整形外科は再び外科より分立、面目を一新し、物心両面の困難を克服し、教



室一丸となって復興に全力を傾倒した結果今日の隆盛を来すに至った。昭和二十一年十二月西新助教授に新任、その頃より復員する教室員が相次ぎ人員を増すと共に、年毎に新入の俊英を迎え名実共に大教室へと発展した。

昭和二十五年四月には岩原教授会長の下に第三十四回整形外科学会総会、昭和三十一年十月には同じく岩原教授会長の下に第十五回日本脳・神経外科学会総会を北里講堂において開催し、且つ乏しい資材と研究費の不足を克服して後述の如く宿題報告、共同研究、その他数多くの重要な研究を次々と発表して常に学会のイニシアチブを把り、臨床面においても病院の復興と共に外来、入院患者共に激増し、昭和三十二年九月より半年にわたる岩原教授の海外視察の結果、施設面は別として研究面においても、診療内容においても決して欧米の一流の大学に遜色なき自信を得た次第である。

現在岩原教授以下教室員は五十八名、研究生二十四名の大世界であり、教室開設当初から常に十名前後であった以前に較べると転に今昔の感に堪えない。

二、人的構成

昭和十五年以降（昭和十四年までは慶応義塾大学医学部二十周年記念誌に記載）の人事異動は次の通りである。

昭和二十一年十月岩原寅猪教授、昭和二十一年十二月西新助教授、昭和二十八年五月池田亀夫助教授、昭和十七年六月森田正朗講師、同年八月大内正夫講師、昭和十八年八月蓮江信行講師、

昭和二十年五月野崎寛三講師、昭和二十二年一月畠田忠良講師、昭和二十三年九月野口好之講師、同年十月井上雅夫講師、昭和二十四年二月久保義信講師、昭和二十五年十月上牧恭一講師、昭和二十六年二月木城卓二講師、同年四月西新助兼任講師及び永井隆講師、昭和二十七年十月泉田重雄講師、昭和二十九年十二月野町昭三郎講師、昭和三十一年一月宮本銈造講師、昭和三十一年一月今中欣一講師の昇任があり、昭和十七年八月小泉次郎講師、同年十月森田正朗講師、昭和十八年八月伊藤原講師、昭和二十年十二月野崎寛三講師、昭和二十一年三月大内正夫講師、同年五月蓮江信行講師、昭和二十四年一月野口好之講師、昭和二十五年六月井上雅夫講師、同年九月久保義信講師、昭和二十六年一月上牧恭一講師、同年四月木城卓二講師、昭和二十七年五月永井隆講師、昭和三十年九月前田友助講師、富田忠良講師、森田正朗講師、昭和三十三年二月今中欣一講師の退職があった。

昭和三十三年十一月現在、教室の構成は次の通りである。教授岩原寅猪、助教授池田亀夫、講師泉田重雄、兼任講師西新助、野町昭三郎、宮本銈造、助手五十五名、大学院学生三名研究生二十四名。

三、研究竝に業績

創立当初より現在迄、学会における宿題報告、特別講演、共同研究は次の通りである。

宿題報告としては大正十四年骨折の観血的療法（前田友助教授）、昭和八年結核性脊椎炎（脊椎カリエス）の診断（前田和三

郎教授)、昭和十年脊椎外科(前田和三郎教授、岩原寅猪助教(昭和十五年淋疾性関節炎(島田信勝濟生会病院外科医長、小泉次郎講師)、昭和十八年先天性筋性斜頸の成因(野崎寛三講師、伊藤原講師)、昭和二十四年脊椎損傷の後遺症と後療法(岩原寅猪教授)の六題がある。

特別講演としては昭和十三年整形外科用器具に就いて(前田和三郎教授)、昭和十五年臨時東京第三陸軍病院に於ける戦傷と整形外科(伊藤原講師他二名)の二題がある。

又共同研究としては昭和二十六年骨関節結核の發生に關する基礎的研究(西新助教)、骨折の牽引療法(池田亀夫講師)、昭和二十八年仙腸関節と腰痛(岩原寅猪教授)、昭和三十一年骨折牽引療法の基礎的研究(池田亀夫助教)、昭和三十三年骨成長の立場からみた先天股脱の治愈経過(泉田重雄講師)、昭和三十三年各種麻痺手の機能外科(池田亀夫助教)の六題がある。

以上教室創立以來、外科学会並に整形外科学会に巨歩を進め、これに従つて教室の研究は脊椎外科、淋疾性関節炎、先天性筋性斜頸から、骨関節結核、骨折に關する問題に拡がってきた。更に現在は骨成長の問題、骨腫瘍、先天股脱、手の外科、頸腕神経痛を採りあげ、歩一步と確実な地歩を学会に印しつつある。

四、臨床面における変遷

昭和四年より十二年の間、外来患

者総数は年間二千三百例前後であり一定している。

昭和十三年に始めて三千を突破し三〇九八例となり、以後漸増

して十八年には四千例を超えたが、戦争が激烈となり戦況日増に不利となつて来た昭和十九年には再び三八三九例に減少した。昭和十九年七月には前田教授も医療宣撫のため、ベルマ方面に向われ昭和二十一年四月御帰国になるまで教授は不在であり、岩原助教も先に昭和十五年より十八年まで善通寺、臨時東京第一陸軍病院等に応召され、一時は二名の教室員が病院の診療を担当した時もあったという。

戦災にて病院の焼失した昭和二十年は日本にとつても敗戦の年であり、患者も一八一七例に激減し、翌二十一年は一六一九例と開院以來の最低値となり、二十二年に多少増加して一九三四例となったが、此の二十、二十一、二十二年が教室開設以來二千例を割つた唯一の時代である。此の当時は臨床関における資材並に設備共極度に払底し、患者にギプスを行うにも一々患者に蚊帳地を持参させて材料を作り、焼跡から焼け残りの木片を集めて湯を沸し、別館屋上の風の吹き曝す処や中庭の露天でギプスを施行するなど、現在では想像を絶するような苦汁をなめたのである。

昭和二十三年から社会の好転、新館の落成、教室の充実等が反映して患者も漸次増加し、二十三年には二千三百、二十四、五年には三千代、二十六、七年には四千代、二十八、九年には五千代三十年には六千代、三十一、二年には七千代となり、現在では来院する患者の応接に暇なき状態である。

外来患者の数の変遷がそのまま臨床面の盛衰を如実に示しているが、疾患内容の変化もまた時代の趨勢を示して興味深い。外傷が一貫して主位を占めているのは当然のことであるが、且て整

形外科の花形であった骨、関節結核は昭和二十五年以後激減し、また昭和十五年宿題を担当した淋疾性関節炎とか、梅毒性の骨関節疾患など、現今では殆んど診る機会さええない。此処数年先天性股関節脱臼とか、先天性拘縮等が急増しているのはその方面の社会的啓蒙が漸く効を奏し始めた結果と考えられ、椎間軟骨ヘルニア、頸腕障碍等が日常の疾患となり、又骨系統疾患とかその他一例報告に類するような所謂珍しい症例が増加しているのは、整形外科の進歩と吾々の知識の向上が与っているものと思われる。

然しながら設備の面をみると、吾々は慢然と患者の増加のみに満足し、安閑としていることは許されない。戦災後取敢えず病室の増加に主眼をおいたため、整形外科に必須の後療法室、作業療法室、等は等閑に附され、且て誇った哺育園も未だ再開せざるのみか、理学療法施設も全く貧弱の極みであり、医師の熱意のみが之等を補う唯一のものである現状は早急に解決されねばならぬ問題である。

五、旧教室員の現況

教室の発展が全国各地で活躍している旧教室員諸氏の基盤の上に立っていることは自明の理であり、此処に諸氏の現況の一端に触れてその労に報いたい。

大学にあって整形外科の講座を担当し、学問に専心する諸氏には野崎寛三（東京医大教授）、西新助（東邦大学教授）、永井隆（東京医大助教授）、宮本銆造（東邦大学助教授）、菊野光郎（東邦大学講師）があり、又外科方面では前田和三郎（慶大外科）

教授を始めとし、加納保之（慶大客員教授）、野口好之（東京歯科大学教授）の諸氏がある。

国立病院、療養所関係では奈奈田幸夫（国立世田谷病院副院長）富田忠良（国立箱根療養所長）、神野古次（国立松戸療養所医務課長）、久保義信（国立村山療養所整形外科医長）、浅葉義一（国立埼玉療養所整形外科医長）、野町昭三郎（国立塩原温泉病院院長）、菅野卓郎（国立栃木病院整形外科医長）の諸氏を始め多数の旧教室員がある。

その他官、公立病院等において診療に、或は研究に絶えざる努力を続け、又開業医として北は東北から南は四国、九州まで夫々の地域で診療の第一線に立って日夜奮闘されている数多くの諸氏の労も忘れることの出来ない大きな力である。

肢体不自由児の療養は、整形外科の中でも最も忍耐と根気の要求される分野の一つであるが、此の方面においても運江信行（埼玉）、中井慎一（奈良）、井上雅夫（長野）、小林録郎（富山）、今井欣一（栃木）その他の諸氏が心血をそそいで開拓に当たっている。

以上且て推進力となって教室を発展させて来た旧教室員は現在外にあって常にも此の整形外科教室のより大いなる伝統をきずかんがため、陰に陽に努力を惜まないのである。

六、結語

学問に終局はない。先輩の血と汗の結晶により打樹てられた此の整形外科教室の歴史を、更に光輝あらしめて明日の世代に継承すべく、精進が続けられている。【養塾百年史より】（昭和33年11月）

整形外科同窓会誌発刊を祝して

小 泉 次 郎

ました事は、まるで昨日の事のように思われます。

その野球嫌いの岩原先生を、別館隣りのグラウンド（現北里図書館）に引つ張り出して

同窓会誌発刊の御通知を載き、本当に喜ばしいことと存じます。これは世の中もどうやら落仕いて、教室も盤石の如く基礎が

確立した証拠だと思つてあります。私の在局当時は御承知の通り、外科と整形外科は一世帯で「刀林」という会誌が、一年一回発刊されていました。昭和二年創刊で、十三年頃まで続いたと思います。戦局も深まるに従つて、紙も自由に手に入らず、医局員の數も減つて自然消滅の形になりました。

當時この会誌は、恩師、先輩、医局員達の学問の話は勿論、珍談、佳話、硬い話、軟い話等に加へて漫画、珍画、写真等が満載されていきました。現東邦大小平教授の流麗の漫画や田村信介さん笹島彦次郎さんの苦心の珍画、齋藤脩二さんの見事の写真は忘れ難いものです。年のせいか真に古い時代は懐しく、前田先生はウエーブの黒髪も豊かに、運動会にはグラウンドを走られた事もありました。岩原先生は卅歳を超えたばかりの元氣一杯の青年で、運動は野球を除き万能と自負して居られただけに、水泳や競走には何時も大活躍をされました。大槻外科との対抗戦に猛烈の水撃吹の中にトップを力泳して、後に続く吾々を大変楽にして下さい

何時間かボールを追い駆けさせた事が只の一回だけありました。これは當時の臍中講師の腕だったと思つています。

その臍中さんは医学部野球部の名捕手だけあって、医局の野球には総監督、捕手、四番打者として欠く事の出来ない人でした。酔一度至れば、X歌Y歌が無限に繰出され、尽る事が無いのはただただ感服の他はありませんが、片っぱしから頬を舐めて廻るのは閉口でした。野崎東京医大教授は、学問は広く通曉した好人物でしたが、残念ながらスポーツの方では目ざましい働きはなかつたようです。然し別の方面での御活躍振りの詳細は、その筋の専門家に譲る事に致しましょう。

漢法医学で現在高名な竜野一雄さんは、穩健勤勉な白哲の美丈夫で尺八の名手でした。何んでも一通り出来ぬものはない、という伊藤大久保病院整形外科部長は、中でも馬術が御自慢でした。性格極めて温良親切な勉強家で、永年に亘り共に過した私が太鼓判を押すに吝ありません。後年若い人達から初代夜間部教授に推戴された事は、いささか意外とする所です。岩原先生とは全く反対に、野球を頭に万能スポーツマン、故長坂のさんちゃんを忘

れる事は出来ません。平素は極めて温厚な青年ですが、一度グラウンドに現われるや阿修羅の如く天才振りを発揮致しました。学生時代腰本監督から野球部に懇望されたという話は有名です。

大内正夫さんは角方には怒濤の寄身、水泳にはアザラシの如く総てがダイナミックの行動を以って鳴り、野球はヒットを打たなくても、一塁に生きるのが御自慢で、専ら心臓の頑健を誇り、勉強も亦、頑張りを見せていました。以上の諸兄に筆者も加つて元気に勤務を続けていました。

現在に於てもなおその名の残る有名な「整形三本槍」と「一本刀」はこれ等の人達の間から誕生しました。この時代は前田、岩原両先生が「脊髄外科」の宿題と取組んで居られ、少ない人達が仲良く気を揃えて銘々自分の受持に真剣の努力を続けていました。

「〇〇君、その後どうですか」と、手術室で前田先生と列んで手を洗っている時、仕事の進行程度を聞かれ逃げ場もなく「ハッ／＼！もう少々（或いは一週間とか二週間）かかると思っています」とか「大体出来ていますがもう少々」と、遠く離れてやられていゝるな、と薄笑いをして眺めている仲間を氣にして返事をする苦しさ。これは誰れでもが経験した苦しかったような、又、楽しかったような想い出です。以上を第一篇とすれば、森田、蓮江、左奈田、加納、西平、小柴、富田等々の整形外科学校教室の青史に名をとどめ得べき、異色の英雄豪傑が雲の如く集ったのは第二篇として述べなければなりません。

以上会誌の発刊を祝し当時の想い出を書いて見ました。次巻にはそれ等の英雄の御話しをどなたかに御願ひ致し度いものです。

ドイツ輸入医薬品

植皮・手術・外傷・火傷後の

瘢痕形成予防にも

手術瘢痕の不快な緊迫感と疼痛が速やかに消散する……瘢痕組織の軟化作用の為に瘢痕の過剰形成を防止し傷痕が認め難くなる……皮下組織と癒着した瘢痕を遊離するから顔面、頸部、開腹、手術の瘢痕に使用する疼痛を予防し得ときは著しい美容的効力が見られるのみならず数年後たまたま起る癒着を予防し得る……ケロイド処置としての植皮に際し局部に塗布すれば美容的効果を発現する

局所 凝血阻止剤

ヒルドイド

軟膏

【包装】 製造元 ドイツ・ミュンヘン・ルートボルドウエルク

健康保険採用

12g・36g
114g

輸入元 大阪市東区唐物町一の26
東京都日本橋室町一の12

(株) マルホ商店

忘れ難い予科時代の恩師

小 泉 次 郎

“No Pains no suffers”の御言葉をのこして、私達を四谷に送って下さった戸沢先生は、何んといつても、終生忘れる事の出来ない恩師の御一人で御座います。

温容璧の如く、理路整然、説き去り説き来る明快円熟した御講義と、巧みな図解は全く私達を魅癡致しました。

一度教壇を離れば慈父の如く、鎌倉の海岸で先生御一家と、偶然御眼に掛り、過ぎた或る夏の日以来、尊敬は先生のみならず御一家皆様に対する絶対のものとなりました。

この時御一緒だった岩原先生は、既に戸沢先生 the mighty と考えて居られた御一人であった事と想像致しますが、私達の仲間ゲンさん、タイちゃん、ウメちゃん達

(戸沢先生は今でもそう呼んで居られます)の遠慮なくあばれ廻るのを、兄貴らしく控え目に監督して居られたように思います。卒業以来御無沙汰を続け、ただ一度だけ御宅へ伺つて御高説を拝聴した事が御座いました。その戸沢先生が、御令閨、御長男御夫妻御揃いで、突然御訪ね下さいました。

「有りり遠方自り来る。亦楽しからず乎」なのに、これが「師有り遠方自り来る」になつてしまつたのですから大変です。古い写真を眺めて昔嚙に花が咲き、三―四時間には瞬く間に過ぎてしまいました。御長男の運転するルノーに四人乗ると、積載量は完全にオーバーです、と笑つて仰有れた程皆様而立派の御体格で、細い私は本当に羨

しく思いました。尚先生は現在学習院大学教授として、御活躍して居られます事は皆様御承知の通りで御座います。

植物学に於ける岡村周諦先生の御高名は中学生の頃から知つて居りましたので、御講義に対する期待も大きく、一度その温顔と御声呟に接するや、勿ち衷心から敬服してしまいました。「その日に教わつた事はその日の内にキチキチと覚えて行きなさい」の御教訓は仲々実現出来ず、試験實際のスピード勉強で糊塗したのは、真に申し訳ない次第でした。「西洋と日本とは総て反対で、人參は甘いのにカロ、イテという」「クロも色なら白も色」「仇っほいの内らで転ぶ」「親から貰つた大事な脛を、チビらすな、ファイブラすな」嗚呼なんと懐しい事か。

以後私の勉強法は出来得る限り、この式に習つた。その一つを御紹介すれば「有難うよ、ロバートさん。ウェストフアールへランチで行こう。アネスデザイはもう沢山だ」は一体何んだと思います。これはアーガイル、ロバートソンの腫孔強直、ウエストフアールの膝蓋反射消失、電撃様疼痛、

下肢知覚異常、軀幹の觸覚異常という、タ
1ベスの初期症状になります。

余裕があれば、この方法で皆のヤマを外
したような事を覚えて置き、折を見て仲
間を抑え、仲々ヨキ気分でした。

昔の人は良い事を申しました。「子曰
く君子重からざれば則ち威あらず。学ぶと
きは則ち固からず」と。

その他柴田一能(倫理) 小林秀治郎(物
理) 後藤格次(化学)の諸先生も将に然り
で、その御懇篤な御指導にも忘れ難い想
いが数々御座います。

これ等良き師を私達に御選び下さった、
慶応義塾大学医学部に絶大の感謝を捧げて
この稿を終ります。



村山にて

久保 義信



二月も中ばになると、狭山の空ではもう
ひばりのさえずりを聞く。桃の節句が過ぎ
れば、麦畑は目立って青さを増して来る。

麦が大根に、大根が甘藷に、畑の表情がう
つり行くと共に、富嶽の外装も変ってゆく
私が赴任した当時のガタバスは何時しか
新型のジーゼル車にきりかわり、車に乗っ
ていると歯の根も合わないようなデコボコ
道は、立川から続く立派な舗装道路におき
かわっている。

カリエス専門治療を夢見て来た畑のまん
中の国立療養所では、肺結核患者が私のや
る胸廓成形術を待ち望んでいた。当時のカ
リエス患者といえば、肺結核合併の五―六
名に過ぎなかった。整形外科どころのさわ
ぎではない。何から手をつけてよいやら、

全くのお先まっ暗であった。とに角、結核
をやらねばと思う中に、ともしれば胸部外
科医へ転業寸前の流れがおしよせて来たよ
うだった。あれからもう九年近くになる。

お膳立てのよい理料を喰いたいのには、誰
しも望むところであろう。村山の場合、す
べては開拓の仕事であったともいえる。

猪突とまではゆかなくとも、何くそとわ
が身に鞭をくれたこともしばしばであった
し、つまらぬことで誰ともなくぶつかりも
した。

しかし、半面至極平凡であり、単調な療
養所の生活が続いていった。

村山へ来て覚えたことといえば、慢性病
のこなし方と、化学方法の使い方と、対社
会社な問題につきるのかもしれない。とい

つても、まだまだやらねばならないことはつぎる所がないようである。

自分勝手なことばかり述べたててしまつたが、教室各位の御発表はまさに目ざましく、御同慶の限りである。出来上つたものは何のヘンテツもないようでも、その過程こそ、まことに尊いものと思う。

この頃のように、教室員が多くなると、全く名前を覚えきれず、失礼のみでおじけがついてしまう。そんな意味で、精々グラウンドコンファランスに出席せねばと思いつつも、仲々その機会を掴み得ないでいる。

新入生歓迎会などに出ると、何時も若々しい純粋な意気を感じて心地よい半面、段々年老いたるを感じることゝ歪めない。

戦後の社会も一段と落着いたと同時に、仕事の内容も一段と深みを帯び、肉づきがよくなり、立派となつて頼もしい。人間的にも、率直で、落着いた人が目立って来たのではないだろうか。これはドサ廻りのヒガ目かもしれないが。

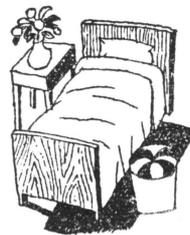
若い人を後じ、踏み台になるのが、われわれ年輩の使命のように思えて仕方がないが、ものに秩序をもとるとすると、逆にと

られることもあるらしい。仲々住み難い半面もあるが、一層よく知

り合つて、お互いを大切にしてゆきたいものだと思ふを終る。

小児病院の構想

左 奈 田 幸 夫



厚生省は昭和三十四年度に国立病院の特殊性を發揮させるべく、当院を小児病院として企画してみた。数次の小児、整形外科系の会合及び座談会を持って大体次の様な構想となつた。

入院患者数三四〇名、内妊産婦の保健治療床五〇を含め満十五才までの小児の入院治療を目的とした。

病床数の年令的区分は
乳児九十、未熟児二十、幼児九十、小児九十、産婦人科五十床で、母子入院患者は全体の十一・十五％を予定した。

病棟別患者数は

Children-Unit (二十五人を一単位とし

二単位)

患者数五〇

内 科

〳 三五

外 科

〳 三五

災害外科

〳 三五

整形外科

〳 三五

未 熟 児

〳 二〇

産 婦 人 科

〳 五〇

総合病棟 (観察病棟を含む)

〳 三〇

伝染病棟 (法定を除き、ウイルスを含む)

〳 二〇

結核病棟 (肺及び骨関節)

〳 三〇

計

三四〇

これに対して医師は小児科七、外科五、

整形五、麻酔二、産婦人科五、耳鼻二、歯

三、眼二、皮一、泌一、臨床検査四、レントゲン三、一般内科三、理学療法一、計四二の予定である。この数は尚検討を要する。

建物はエレベーター二基を有する五階建鉄筋コンクリートとし、小児ユニットは平家建二棟とする。建物周辺は芝生とし、遊戯施設をつける。小児に親しまれ治療し得る環境とし、家庭的気分のある病院とし、Hospitalismに注意をおいた。又屋内外に大小のプールを設け、屋内は冬季温水とする。各室及び廊下はカラト、コンディショニングは勿論遊戯室、ラジオ、テレビ

足跡

小柴清定



應応は幼稚舎、普通部、医学部のコースで卒業した私は、此等の同窓会に属しているわけであるが、現在の仕事に直結した同窓会は整形外科同窓会であり、向後も、会

室を設け、病室の音響管理は中央調整システムを採用したい。

大体以上の構想で、予算を提出したが省議は通ったが結局国の予算としては通らなかった。

私としては国立病院の在り方として将来は一般病院では設備困難で、且国民が必要上希望する特殊な病院としてゆかねばならぬと考えている。

尚今後想をねり次の期会に整形外科病院としての性格を持つ世田谷病院を設立する様努力するつもりである。

を通じて整形外科教室と接触し、教室の発展を望んでいる。現在勤務中の田無病院も整形外科方面に發展せしめることが、教室の為にもなり、前田先生、岩原先生を初め

諸先輩、諸兄に報恩することともなることと、努力中である。昭和十一年入局当時僅か十数人乍ら、前田先生以下一丸になって「脊髄外科」と取組んでいた張切った雰囲気、外来第一診察室で、「信愛」と書かれた前田先生の額の下に、毎日癪快に勤務し夕食後より各自の仕事に精を出した懐しい標本室。戦争も追々忙しくなり、次々と軍服姿で消へて行った慌しい様子等々、今だに目に浮んでいる。

昭和十三年に、私にも召集令が下り、教室に戻ったのが十七年であり、復帰早々に順位を押し上げられ、整形外科の勉強に大車輪だったことは楽しい思出である。

昭和十九年中島飛行機の附属病院に赴任したが、翌年終戦と共に病院は解散となり次で、独立採算の下に同病院に勤務、二十三年より院長として経営に参加することとなり、努力した積りだが、成績芳しからずして、解散の一手手前迄追詰められた。幸ひにも、結核病床への切替へて息をつき、経営状態も除々に改善され、病院の買収から、医療法人設立し、現在の結核病棟併有の普通病院の形態を持つに至った。この間

岩原会長以下教室各位の御厚意、御援助は誠に心強い限りであった。

困難な時期に何より頼りになったのは従業員達の誠実であった。自己本位の考えが強い者、不誠実な勤務者等々数へ切れない人々が交代した。私は、前田先生の「信愛」の精神で病院の管理、経営をすべく努力した積りであるが、さて実際に事に当たると、「信愛」の如何に難かしいかを、識つた。勘忍袋の緒を切つて何度か事を処理し、後に嫌な思いを残すことがあり、反省すると共に、自分の小さいのに自責の念に耐えない。

教室を離れて赴任すれば、勉学と実務とは必ずしも併行を許されない。給与面に就ても必ず何等かの不満の点が感じられるであろう。然し一医長としてでなく、その病院の経営方針なり状況なりを判断され、誠実を基本に発展に努力されることは、向後の教室の発室を計る上に重要なポイントであろう。

今回慶大整形外科教室同窓会雑誌の発行に際して、昔を回顧すると共に、私の信ずる所を寸言した次第である。

追憶

遠山一郎



昭和十九年十二月医局を去つて昨年四月末に上京するまで、丁度十三年五カ月間、若手三陸の陸前高田市横田町で開業医として過した。

僅か三十牀の整形外科病院であったが、職員二十名前後で完全給食と完全看護を行つて一応の設備も終つたのであったが、私の体が続かなくなつたのと、子供の教育に困るので遂に思い切つて東京へ転居してしまつた。現在病院はそのままに置いてあるが、未だ後任は決定していない。

開業当初から岩原先生や野崎先生の御好意によつて次々に両医局より医局の先生方を凡そ半年交代で派遣して頂き、中には極めて短期間の臨時的出張を頂いた方も二三あったが、とに角東北と言うと誰しも非常

に遠いと思うのは当然であり、個人開業医の処にあれだけの御後援を頂いた事は、忘れる事が出来ないし深く感謝している。想い出すままに、その方々の名前を並べて見ると、泉田重雄、遊木三郎、小林録郎、藤原由利夫、今中欣一、土田精一、鈴木邦雄（以上KO）、守重東次郎、池田（以上東京医大）の諸先生方であった。今は出張頂いた諸先生方も、殆んど各方面で活躍されている事はほんとうに心から嬉しい。

野崎先生には昭和二十四、五年二夏鮎釣りに来て頂いた。解禁の暁、毎日六十四以上も釣つて来られるので私の処の釣名人畠山事務長が、非常に感服していた。

昭和二十六年北海道整形外科学会の帰りに態々前田和三郎先生が私の病院を見て下

さった。伝田俊男医局長のお伴だった。天候は雨だったので鮎釣りは駄目でほんとうに残念だった。相前後して岩原先生が木城卓二さんを伴って来られたが、あの時は天候は上々で鮎釣り（どぶ釣り）を而も解禁

あの時の想出

白田 正雄



日だったので短時間であったが楽しんで頂き、十数匹も釣られたように思う。短かかった私の開業に前田、岩原両教授を始め野崎先生の御力により医局の諸先生の御援助を頂き深く感謝してやまない。

腰をすえて、武者振りよろしく、時のうつるを待った。

五分！ 十分！ やがて、「ドドドドドドド」「ドカン」「ドカン」「ピシン」「ドーン」、「ビリビリ」。機銃の音、高射砲の音、爆弾、主砲、あらゆる火器の交錯である。折しも、「ドシャン」「ガサガサ」と、すぐそばの薬剤室の舷側に、一弾命中。「やりやがったな！」と歯をかみしめる、と、次の瞬間、一段と高い爆発音と共に、治療室の舷側に、もう一発くらった。電灯は消える。折角ととのえた手術準備は、めちゃめちゃになる。すぐ下の甲板の下士官室に浸水の音がする。

「敵数十機、本艦前方〇〇〇〇米。」
二〇漕前方を警戒航中の重巡洋艦根根からの無電である。電報を読み終って、副長は凜とした声で、「配置に付け」、「戦闘用意」を令した。正に真剣勝負が始まらんとする瞬間である。

航空母艦竜驥は、機動部隊本隊の前方五〇漕、ガタルカナル島の北方六〇漕に進出し、艦載機は全機已に「ガ」島爆撃に向った。午前の訓練を終って艦は、晴れ渡った

航海日和に、穏な南太平洋上を敵をもとめ

て、疾走しておった。士官室では、各科長、分隊長の幹部が、副長を中心にして、食卓についていた。「やられる時はやられたで仕方がないじゃないか。運は天にまかすよ。」百戦練磨の副長は、こんなことをいわれた。機関長も、飛行長も、何かと話題を出して、論じていた。この時だった。電報がとどけられたのは。

軍医長の戦闘配置は、士官室の後方の治療室である。手術準備を完了し、艦の中心部の比較的安全地帯に部下を集め、床几に

爆弾、大砲の音はなくなった。ここにも仕事にならない。部下をひきつれて艦橋に向う。「前部弾薬庫注水」と号令が聞える。「これは大変なことになった。」と思う。途中、数名の、舷側からとび込んだ機銃弾でやられた負傷兵の処置をさせる。

艦橋に出た。これはまた、何と表現したらよからうか。窓硝子はすっかり破れ、羅針盤、机等々、乱暴狼籍の限りをつくし信号員が、見張員が、航海科員が、処せま

しと倒れ、又うなっている。殊に、どまん中に、たった先程、一緒に食事をし、話していた副長が大の字になって倒れ、しかも腹から腸が、むくむくと醸出しているではないか。艦は右に一七度傾斜し、異様な方向に走っている。

やがて艦は止った。一九度、二三度、傾斜は増す。傾斜を復元しようとする努力もそのかいなく、艦長は「総員退去」を決心される。傾斜した飛行甲板に集る。うねりが強くなって、その度に、甲板に運び上げられた死体がすべり落ちる。神も、仏もあつたものじゃない。軍艦旗がおろされる。

その時である！ はるかかなたに、敵機が二機あらわれる。皆の頭の中に、さつと凄気がみなぎる。「動けない艦、かしがった艦、しかも、皆がここに集っている。小なりとも一発ここに落されたら、又どんな阿修羅場が出現することだろうか。」まないとに乗せられた魚！ 敵機はどんどん近づいて来る。B17だ。果然、傾いている高射砲が火をぶき出した。どこから来たか、味方の飛行機もとんで来た。やれやれ！ 敵は来たしとばかり、少しはなれた海上

に、爆弾一個を落して、飛び去った。

重傷患者から護衛の二駆逐艦（天津風、時津風）にうつす。乗組軍医中尉は、第一便で駆逐艦に移乗、治療にあたらせる。艦は傾斜27度、30度と増す、航海長は40度までは大丈夫という。幹部は艦長、飛行長、軍医長、航海長が生きのこり、協議する。他の安否はわからない。幹部が移乗する予定の重巡洋艦利根は「ワレセンジョウウニユク」と信号をのこして、さっさと行ってしまふ。空は曇って来て、うすぐらくなる。傾斜は、平均37度と、とどけられる。うねりは相当強くなる。「落ちたら泳ぎ出せばいい。」と覚悟を決める。その時、「軍医長、患者は全部、駆逐艦にうつしました。」と先任下士官が、報告に来た。

「艦長、もう下りようじゃありませんか。」と提案する。誰も何ともいわない。「では、私は患者の治療をせねばなりませんから、お先に失礼します。」左舷側には内火艇が待っていた。艦は右に傾いて、前部右舷の上甲板は既に、潮に洗われている。反対に左舷は水線下まで、たっぷりあらわれている。そこをつたわって、内火艇

の覆のカンバスの上に飛降りる。「やれやれ、これで先ず命はたすかった」と思う。何だか、腹の底で安堵を感じているような気がする。命があった！ もう他には、何もしらないような気になる。仏の気持か。

駆逐艦では、兵員室は勿論、上甲板まで患者で満員だ。下腿から両足を、射断された男が、駆逐艦まで泳いで来たという。精神力だ。けれども、精神力だけでは助からない。出血多量で、しばらくして死んだ。大股、腕を手拭でしばつてあるものが多い。だが皆緩い。三日前、総員を集めて、「四肢の出血の時は手拭でぎゅっと締めめることは覚えていたが、緩くて役に立たない、つまり、必要のあるものは死んで、その必要のなかったものだけが、生きのこつたのだ。これは方法がわるい。不徹底だもつと止血法について、研究・訓練しておかなければならない。そうだ。総員に手拭と、手頃の棒に紐をつけたものを持たせて、弾にやられ、出血多量なら、即座に自分でねじり締め、止血し、自ら救急処置をする。もどらぬように棒につけた紐でしば

って、そしてもう一度働いてもらわなければ、戦争に勝てない。こんな構想が、頭に浮かぶ。余談ではあるが、これから半年後には、連合艦隊の大部分の艦でこの止血棒こと、救命棒を、総員に持たせるようになる。更に半年後には、各地の根拠地隊、病院等まで、また最後には、硫黄島の兵士も、今の警棒のような、たくましい棒を皆持っているとの新聞報導に、ひそかに、ほくそえんだ次第である。

艦内を一巡して、士官室に戻った。つい先程、空母艦上で別れてきた、艦長、飛行長、航海長が、ぬれ鼠になって来ている。彼等は、私が下りたあと、後を追って下ってきたのだが、内火艇がいなかったの、待っていたところ、艦は急に、逆に左舷に傾き、前部がはね上って、後尾から海底深く沈没した由で、その際、三名は海中に放り出され、一旦渦に巻き込まれたが、再び浮き上って来たところを助けられたとのことである。私が離艦してから、十五分乃至二十分の出来事である。

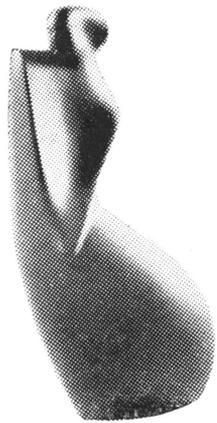
ソファに飛行隊長が、横たわっていた。彼は爆撃隊を率いて、「ガ」島爆撃を敢行

して帰ったが、母艦傾斜のため着艦出来ず上空におった。B17を追ったのも彼だろう。陸上機で着水し、徐ろに機からおりたのだが、着水時のショックで、前額部を負傷した。彼は後に、トラック島上空の空中戦で戦死した。二階級特進組だ。飛行機乗諸君には、全く頭がさがる。

昭和十七年八月二十四日、第二ソロモン海戦の一コマである。

× ×
× ×

神経痛 リウマチに



オサドリンは西強クノール社で発見されたピラゾロン誘導体(一・四)シッフエニル一三・五)シオキンピラゾリジン)にアミノピリンを配合した新治療剤である。

新化合物一・四)シッフエニル一三・五)シオキンピラゾリジンは毒性低く、抗リウマチ作用はアミノピリンより優れている。

この新化合物がアミノピリンと相乗的な効果を発揮するためオサドリンの鎮痛・解熱作用は極めて強力で、副作用も軽減され、全身はもとより局所の忍容性も良好である

〔包装〕錠剤(二錠・三錠・一〇錠・五〇錠 注射液(劇)(三CC・五CC)管 五管

オサドリン

★説明書 贈呈(雑誌名を記入下さい)
大阪市東区道修町 大日本製薬株式会社

(OS~4)



WISCONSIN STATE CAPITOL

アメリカ便り

藤野豊美

一、病院のある町

ミルウォーキーといえば、ここではドイツ人の多いビールの町かというけれどもさしずめ日本ではノンプロ野球を出した方が分り易い。又、人口の点からいっても三十万を越すので大体の人がミルウォーキーこそウイスクンシン州の主都と思うらしいがさにあらず、約七十マイル西に下った十万たらずのマジソンこそ行政の町又、文化の中心なのである。町全体は三つの美しい湖に囲まれた内にありほぼ中心にキルシュナーの三翼釘の形をした議事堂がある。これをはるかに西南に下ればなだらかな丘陵となって大学の本館バスカムホールにつきあたる。いつ行ってみてもおのほりさんらしい人がカメラを首に（日本人にあらず）リンカーンの像を背景に写真をとっている姿がみうけられていづこも同じという感じをうける。大学の敷地といえは湖に面して一平方軒もあるうか、その中に農学部を中心に各学部が集まり、湖辺には男女の寄宿舎が群をなして建っている。とくに寄宿をあげたいのはフェイ、イブシロン、ガンマーだとかアルファ・ベータ、ガンマーとかいう名の奨学クラブがあって、学校の成績が六十点以上で共

同生活が責任をもって出来る学生がそれを受ける資格がある事になつていて、そのメンバーであることはすごい名譽があるのだという。又、友人関係にも役する所が多いと聞くからである。それよりも羨やましいと思つたのは大学の学生によって運営されている日比谷公会堂を少し大きくした大きさのメモリアル・ユニオンの存在である。ここには劇場あり映画館あり読書室、ホテル並の食堂あり、又ドイツ風の飲み場があり画廊も新旧いろいろな方面からのものが入れ変り立ち変り一般に公開されているし、又ピンポン、ボーリング、玉つきと学生は勿論この町全体の人が老若をとわず利用し楽しんでゐることである。夏ともなると湖辺にヨット、カヌーがつながれる。大きなプラタナスの木蔭には緑黄朱と色とりどりに塗られたテーブルを囲んであるグループは教授を中心に昼からの続きなのか世界経済を論議しているし、あるグループには年老いた夫婦が仲良くコココーラを飲みながら語り合い、あるグループでは国際色豊かでビールを手に手にお互いに自分の国の事を理解させようとしているし、更に忘れてはならぬのは若き恋人達が沖に点滅する光を見つめながら闇の中に寄りそつてゐる姿であろう。たとえアイゼンハワーが時局演説をやるうとこの人々の生活は使いてゆくのである。

学生のきになるといへばもう一つ書きたい事は我々日本人には余りにも味気のないアメリカの食事の中でも、コック・パンの中に炭火で焼きたてのステーキをほさんで食べさしてくれるプラット・ハウスの所属ステーキであろう。お代はちとはって四十セント(百四十四円)だが、ミルオーキーのビール・シュリッツを飲み

ながらたべるあの誘惑には勝ちがたい。図書館の大きい事は又その比をみない。何十万という蔵書が五階の近代建築の中におさまつていて日本の本も可成りあるが、我々にとりさしづめ御厄介になるのは新聞の部である。ここには朝日新聞がきてゐる。

二、ウイソコンシン州立大学病院

ウイソコンシン州立大学病院は一九二四年に九百床のベッドをもつて出発した。それから約三十年後の一九五一年には増築した。でも研究室を増加した関係で病室の数こそ約七百に減少したが研究活動では生化学的に仲々盛んで特にこの癌研究所は有名である。世界で八つの有名な癌研究所があるというが、その一つであると彼等は自慢しているウランとウラシルの結合したウルオ・ウラシルが皮膚癌に効果があると成績を発表しているが、毒性が強いのが欠点だという。その他色々な新しい薬を実験的に入院患者に使つてゐるが、その薬にはた番号がついてゐるだけでどんな誘導体なのか全然おしえてくれない。

外来患者としては退院後の予後を調べるために来るだけで極めて数は少なく、入院患者だけを扱つてゐるのが現状だ。患者は大体ファミリー・ドクターというのがいてその紹介で入院して来る。入院の際には殆んど手ぶらで来るが State の患者なら各々の Country (日本の都) の Judge に入院の許可書をもらつて来ることは忘れてはならない。入院と同時にセントラル・レコードから前に入院した事があるとその記録が全部病棟に運ばれて来てまず学生(四年生) インターン・レジデント教授と活動が始まる



STATE OF WISCONSIN GENERAL HOSPITAL

わけ。なにしろ一日が二十五ドルもするので最善の努力をして治療し早く退院させなければならない。

三、当直日誌より

けたたましい電話のベルにたたき起こされる。時計をみると午前三時だ。今日いや昨日胃切除をやった患者の血圧が八十に下ったという。ショックポジションに患者を置き一単位(五百cc)の血液を取り寄せ又酸素吸入を初めるよう看護婦に命じ、急いで服を着変えて病棟へ急ぐ。輸血を初め三十分もすると血圧は百十に上りほつとする。ヴァイタル・サインを十五分おきに八回、三十分おきに二回、一時間おいて一回と朝病棟に来るまで看護婦が患者を見るようにオーダーを書いて帰ろうとするとちよつと待って下さいという。I・Vが止まっているのとキャセター(カテール)を入れてもらいたいのと二つ仕事が残っていますという。度々呼ぶのは気の毒だからまとめて呼びましたと更に注釈をつけてくれる。

朝六時半おきて採血を初め八時には手術場に入って夕方六時まで。腹はへる、脚は棒のようになり弾力包帯を両足にまきつけてなんとか耐えている次第。それから廻診をやり夜勤とあつては他の病棟からも呼ばれることしきり。床に入れたのが一時。とてもこのままではいられない。コーヒーをがぶがぶ三杯ばかり立て続けにのんで仕事にとりかかると。

ここではキャセターは男の患者は医者が女の場合は看護婦が入れる。一時的導尿のときはロビンソン留置するときはフォーリー

だがこの場合尿路感染防止のため八千倍の KMnO_4 で日に二回洗滌することになっている。導尿すると出るわ出るわ七百ccも出て来た。殆んど膀胱の最高許容量ではないか。全く患者が苦しむのも無理はない。次いでI・Vをみると血液が管の中頃まで上っていて凝固している。こんなのは大体看護婦が一型終って次の型をやるまで長い間放っておく事によるのが多い。黙って新しい管にとり変える。宿舎に帰ってしばらくすると又呼び出される。メラノーマの患者だが息を引き取ったと思うがすぐ来てくれという。皮膚はまだ生温かい。しかし顔はすでに白蠟化して神々しい位に美しい。心臓に聴診器をあてるが何の音も伝って来ない。思わず自分の耳を疑う。死の宣言、この瞬間程いやな思いをした事はなかった。生涯で初めての死の宣告只自分ではうたがいたかった。死の存在を。病棟担当の教授レジデントに事の次第を知らせる。

すでに若き人妻は待合室に来ていた。剖検のためのサインを彼女にも知らわなくてはならない。新しい薬を使った効果とか真の死因を知りたいしこれによって次の医学の道が開かれるためにもサインしてくれないかとたのむ。あらかじめ新しい薬については知られていたらしく簡単に事は進む。ほっと一息、まだまだ仕事はある。病理を呼びだし Autopsy のケースがあるがいつやってくるかを連絡とり更に死去した事をチャート(カルテの事)にしたためて事のしめくりをする。

病室の廊下はすでに明るい。六時半だ。朝食をとりにかフェテリアに降りてゆく。又一日の歯車は同じく廻転してゆく。

リウマチ 喘息 皮膚疾患 ネフローゼ 眼疾患など

〔健保適用〕



シオノギ 塩野義製薬

- ☆コーチゾンの約5倍強力。従つて臨床上、コーチゾン・ハイドロコーチゾンに比し著しく少量で迅速、強力、的確に奏効する。
- ☆電解質代謝障害による副作用(浮腫・心臓衰弱など)はほとんどない。
- ☆Cortisone escape および副作用で治療を継続できない患者にも、優れた効果を発揮する。
- ☆局所症状の治療には(リウマチに)関節腔内注入用、(皮膚疾患に)軟膏が効果的である。

強力合成副腎皮質ホルモン剤

プレドロン

(プレドニゾロン)

錠剤・注入用・倍散・軟膏・眼軟膏

晴海埠頭にて



(Naopan F
Canon 100mm ライカD III
F.5.6 $\frac{1}{500}$ ミクロファイン8分)

写真帳より

高橋 昭

満員電車の往きかえり、医局でも病棟でも果ては便所の中までも常に白衣の右肩にカメラをぶらさげて歩いて来る。「いや、載せるのなんか無いですよ。」という彼の写真帳何百冊の中から無理にひったくって掲載しました。左は「OPERATION」下は「或る集談会風景」右は或る夏の昼下り 晴海 埠頭にたたずむ Young Lady を撮ったものだそうです(係)

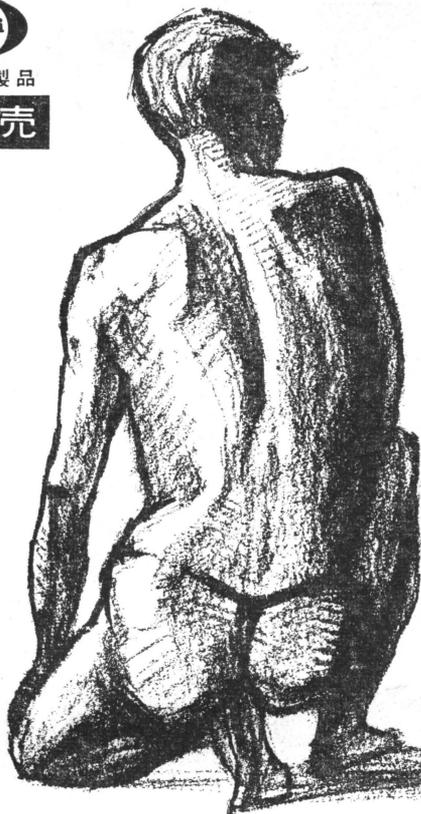




研究室製品

新発売

ラジオ☆日本放送放送文「エーザイクリニ会講座」毎火曜夜九時四五分より
テレビ☆NTV・HBC・YTV・TNC・THK☆「雑草の歌」毎金曜夜十時より



筋肉の凝りに

内服用

ソラキシリン

(五イタロロベンゾキザゾリン)



S0-4

硬直と疼痛に……

肩凝り、腰背痛、神経痛、四肢痛 或いはスポーツ後の筋痛など、骨格筋の硬直や痙攣をほぐし、これに伴う疼痛や腫脹、運動失調などの症状を内服で治療する新しい薬剤です。

局所的でなく……

脊髄の多相シナプス反射路に作用して異常刺戟の伝導のみを選択的に遮断する点で、従来の対症療法と異なる新療法です。勿論、正常な筋肉機能には何らの障害がなく、薬用量では副作用もありません。

内服して即効……

しかも数時間にわたり持続します。特に就寝前に二錠を用いると、凝りをほぐして安眠をもたらし、慢性症には一〜二錠宛一日三〜四回服用します。

一〇〇錠 五〇〇錠 健保 一錠 八円五〇銭

東京都文京区竹早町

エーザイ株式会社

大阪・札幌・名古屋・福岡

東京衛材



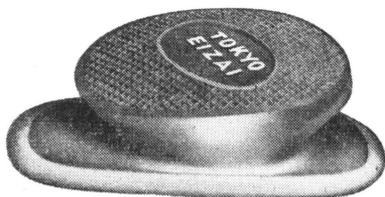
主要製品

スピードギプス



整形外科材料

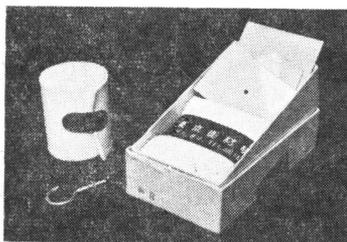
3型 ギプスヒール



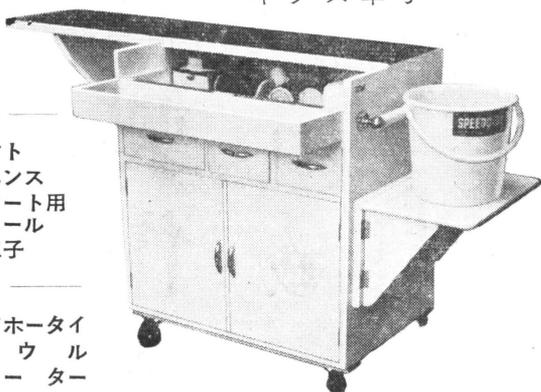
弾力包帯



スピードトラック



ギプス卓子



— 新製品目 —

サポータックス・ピニバット
 ベストバンド・アルフェンス
 グラスネット・クラブフット用
 ライトカスト・ギプス卓子

— 営業品目 —

レヂコン・スピードホータイ
 ギプスヒール・エバウル
 オルソバンド・サポーター
 紙コップ・ストツキネット
 フェルト・ホワイテット

有限
会社

東京衛材研究所

東京都墨田区寺島町4~100
TEL (68) 5688

義肢整形器械製作
慶応病院整形外科御用

合資
会社

溝口製作所

溝口政雄

東京都台東区池ノ端七軒町五十一番地
電話 駒込(82) 三八一七番

義肢コルセット及整形外科器械
岩原式四肢万能牽引装置
身体障害者用補助車一式

株式會社
河村製作所

社長 河村 孝 信

東京都豊高区西巢鴨二丁目二四四五番地
電話池袋(97)〇二五六・〇二五七番

教室だより

木住野喜義

古い教室の歴史をふり返ってみても、過去一年間における程、人事の移動の多かった年はないと思われます。十指を数える新設に約半数の医長を送り出し、教室の発展に輝やかしい足跡を残した年といえましよう。

將に整形外科ブームとでもいい得ましようか。岩原教授の心労の程がうかがえます。一方旧制の学位制度も大づめに來ている現在、時代の要求にも充分に応じられないのが大きな悩みです。

従つて教室は目下少数精銳主義をモットーとして、外来患者の診盛に又雑用に忙しい日を送っています。今年は前後二カ月の夏休みの二交代制を止むなく三交代に改めました。

部長は長い箱根のお住いから、世田谷に移られ、遂に夏休みも返上で士気を鼓舞しておられます。

以下教室の現況についてお知らせします。

研究

今年の春の学会に骨長径成長に関する部長の特別講演があり、広範な基礎的研究が発表されましたが、これを土台として更に臨床的な方面に飛躍しつつある段階にあり、脊髄外科にはなお情熱を傾けておられます。

池田助教授を中核とする骨腫瘍の研究は來年の学会をひかえ、一丸となつて目下データーの整理に忙しい毎日を送つております。

泉田講師を中心とする先天股脱、頸腕障碍のテーマ、更に整形外科も分科されつつある時代の傾向に一步先んじて、手の外科(木住野)小兒骨折(福田)膝関節(今井)と各パートを分担して、暖簾にはじな

いよう努力を続けております。

研究会は部長の帰朝を機に従來行つていた抄読会の形式を止めて、新に外国の長所を取入れた症例討論会に改め、手術の適応治療法を自由に討論する会を毎週催しており、月に一度は外部の病院からも症例を持って寄つて、グランドコンファレンスを行つております。

診療

外来患者は年とともに増加し(三一年七一三九名、三二年七七〇二名、三三年八三九六名)従來の第一診察と再來では殺倒する患者を消化し切れず、昨年五月から外来第二診察室を新設して、古い助手が担当し、第一診察を補助していますが、これでも午後一時過ぎまでかかる事は通常です。

入院は年間延べ六百名前後ですが、現在整形外科の有するベット数は七五床ですが

とうてい入院希望者の期待に応えられない状態です。入院予約者は常時百二十三名を越えている状態です。

人事、出張

医局の実働数は助手一八名、大学院学生五名、計二三名で、四十名以上を数えた頃に比するとかなり散といったところです。

アンケート

- 一、家族
- 二、趣味娯楽・特に最近では
- 三、近況
- 四、医局に対する希望

関口林五郎

- 一、妻在 子一名 孫二名
- 二、スポーツ
- 三、女婿と共に働いております
- 四、御無沙汰致し申訳ございません

最少の勢力で最大の効果をあげねばならぬ現状こそ、明日のために甘受しなければならぬうれしい悲鳴であると考えます。教室から現在週一乃至二回パートタイムとして出張している病院は、太田、神奈川済生会、田無、大宮、川口工業、若草の六病院に杉並西保険所には月二回、午後出張して育成医療に従事しています。

同窓会員一九〇名中八八名の返信がありました。紙面の都合上今回は主に地方の会員の近況を御知らせ致します。会誌発行遅延の為或いは遠況となる場合があり得るかも知れませんが宜しく御許下さい。

栃原潤

- 一、妻在 子六名
- 二、写真 碁 スポーツ指導
- 三、非常に元氣、万座、鹿沢温泉スキー場の近くです。スキーに御出掛け下さい。

四、三女が医科（四谷）の一年におります。何卒よろしく御指導下さい。

山内吉雄

- 一、妻在 子健嗣他女子四名二名嫁す
- 二、囲碁、野球、狩猟
- 三、開業二五年を過ぎ慣行料金の時代と保険時代の今日との医業の差を痛感するものであります。

弓削中

- 一、妻在 子五名（男三名、女二名）
- 二、スポーツ及び勝負事をはなれ、最近では花卉園芸
- 三、長男京都府立医大、次男熊本医大にあり、子供の成長を楽みにコツコツとやっているだけ
- 四、益々御発展を祈ってやみません

白田正雄

- 一、妻在 子六名 東京に三名出ています
- 二、読書、特に最近では歴史的事の地球のことなど。年のせいでしょうか
- 三、医師会長等雑事が多くなってこまります
- 四、機会ある毎におうかがいして患者を

見せて頂きたいと思ひます。宜敷く願上ます

成内 穎三郎

一、妻在 子四名

二、8ミリ映画及びスキー

三、至極健康

四、医師に対する世間の風当りは強い。

之は何故であるかを認識し、又反省すべきは反省しなければならぬ。現在社会に於ける医療というものをよく考え直して見なければならぬ。

龍野 一雄

一、妻在 子四名

二、読書、旅行、邦楽、演劇、カメラ

三、毎年千頁を目標に著述に専心

野崎 寛三

一、妻在 子五名

二、相変らず釣のみですが忙しくてその機会も仲々ありません

三、至極健康です。学会長の重責を果しましたことを常に同窓に感謝しております。尚昨年六月より東京健保審査員になり多忙の度を加えました。私に対する諸事御連絡は可成昼食時間に御願ひ申し上げます

四、学問活動に対して敬服し羨望を感じます。尚診療就職の面にも更に上下心を一にし連絡を密にして私学代表クリニックとして世間の期待に答えて下さい

島中 卓助

一、妻在 子五名

二、ゴルフ、魚釣

三、相変らず元気にやっています

四、無

小泉 次郎

一、妻在 子 女一名男二名

二、8ミリシネ、従って日帰り或は一泊程度の小旅行。洋画

四、会員の親睦を高めるため同窓会誌の発行は大変結構です。これを通じて古い方新しい方の御動静、御意見が判り、整形外科の新しい方向も教えられると大に期待しています

加納 保之

一、妻在 女子二名

二、特に最近では忙しすぎて何もありません

三、気管支に関する研究

中井 慎一

一、妻在 子一名

二、写真

三、肢体不自由児施設「東大寺整肢園」も目下増築工事中の病室が完工しますと、定員一〇三名の収容能力をもつこととなり施設の整備拡充に元気で働いております

四、なし

遠山 一郎

一、妻在 子三名

二、園芸、絵画、写真、特に最近では油

絵

三、東京に転居してあと二ヶ月で満一年埼玉療育園五月十日開園、肢体不自由児と共に生活していますがいろいろ考えさせられる大きな問題があり、管理者としても医務部長としても悩んでいます

四、各方面に益々活発な御発展を希望します

大沼 良雄

一、妻在 子三名

二、スポーツ、音楽

三、海上自衛隊横須賀地区病院で自衛隊の一機関としての仕事と病院としての仕事に従事しております

篠原 勝

- 一、妻在 子三名
- 二、学生時代からの野球、特に最近は病
コーモーに入る
- 三、平凡に生活しています

鈴木 正弘

- 一、妻在子二名
- 二、終戦後帰還がおそかった為子供が小
さく趣味に心をうばわれる余裕が未だあり
ません
- 三、元気に働いております
- 四、仲々上京の機会もなく縁の遠い存在
となった様な感じます

井上 雅夫

- 一、妻在 子三名
- 二、ときどき釣を湖水や川でやる程度
- 三、昨年は重病を患い四月に亘り入院し
ましたので、本年は自重しておりますが、
仕事が多すぎて閉口しております。肢体不
自由児施設は約五十床増床の計画をしてお
ります
- 四、同窓会誌を期待しております

久保 義信

- 一、妻在 子〇名

- 二、カメラとバラといったところですが
さっぱりどうも
- 三、相変らずカリエスを元気にやってい
ます
- 四、キヨロキヨロココセしない洋々た
る流れを希望します

野間 清邦

- 一、妻在 子一名
- 二、編物
- 三、毎日腕白小僧と喧嘩しています
- 浅葉 義一
- 一、妻在 子二名
- 二、野球、テニス、読書
- 三、家族一同元氣
- 飛 弾 清 英
- 一、妻在 子二名
- 二、スポーツ
- 三、多忙なるも至極元氣です

野間 千賀子

- 一、夫在 子一名

野間 清邦

- 一、妻在 子二名
- 二、スポーツ
- 三、多忙なるも至極元氣です

野間 清邦

- 一、妻在 子二名
- 二、スポーツ
- 三、多忙なるも至極元氣です

野間 清邦

- 一、妻在 子二名
- 二、スポーツ
- 三、多忙なるも至極元氣です

野間 清邦

- 一、妻在 子二名
- 二、スポーツ
- 三、多忙なるも至極元氣です

- 一、妻在 子二名
- 二、スポーツ
- 三、多忙なるも至極元氣です

- 四、教室は外勤者の泉であります。お忘
れなきように

小林 録郎

- 一、妻在 子二名
- 二、祭り上げられて月二回開く町のダン
スクラブの会長、その他はテレビで暇潰し
春到来と共に野球をやるでだてを考えてい
ます
- 三、昨年十一月一日より当地に於て開業
未だ啓蒙宣伝中という所です。従ってマツ
サージとあとは小児科

春日 秀彦

- 一、妻在 子一名
- 二、ひとりで大きく音楽（クラシック、セ
ミクラシック）自動車運転（神風に非ず）
- 三、昔よりおとなしくなりました
- 四、特別ありません

武田 智

- 一、妻在 子二名
- 二、祭り上げられて月二回開く町のダン
スクラブの会長、その他はテレビで暇潰し
春到来と共に野球をやるでだてを考えてい
ます
- 三、昨年十一月一日より当地に於て開業
未だ啓蒙宣伝中という所です。従ってマツ
サージとあとは小児科

武田 智

- 一、妻在 子二名
- 二、祭り上げられて月二回開く町のダン
スクラブの会長、その他はテレビで暇潰し
春到来と共に野球をやるでだてを考えてい
ます
- 三、昨年十一月一日より当地に於て開業
未だ啓蒙宣伝中という所です。従ってマツ
サージとあとは小児科

武田 智

- 一、妻在 子二名
- 二、祭り上げられて月二回開く町のダン
スクラブの会長、その他はテレビで暇潰し
春到来と共に野球をやるでだてを考えてい
ます
- 三、昨年十一月一日より当地に於て開業
未だ啓蒙宣伝中という所です。従ってマツ
サージとあとは小児科

武田 智

- 一、妻在 子二名
- 二、祭り上げられて月二回開く町のダン
スクラブの会長、その他はテレビで暇潰し
春到来と共に野球をやるでだてを考えてい
ます
- 三、昨年十一月一日より当地に於て開業
未だ啓蒙宣伝中という所です。従ってマツ
サージとあとは小児科

- 一、妻在 子二名
- 二、祭り上げられて月二回開く町のダン
スクラブの会長、その他はテレビで暇潰し
春到来と共に野球をやるでだてを考えてい
ます
- 三、昨年十一月一日より当地に於て開業
未だ啓蒙宣伝中という所です。従ってマツ
サージとあとは小児科



地方便り

神奈川地方

昨年十二月岩原教授が国立箱根療養所長を辞任され、一抹のさびしさを感じないわけにはゆきませんが、当地方の病院、診療所或いは開業で活躍されている同窓生は非常に多く今更ながら教室の発展に驚き又心強く思っています。

さて、私が、それぞれの院長、医長からいただいた近況をなるべく原文のままのせて、当地方の状況をお知らせいたしたいと思えます。(今井)

海上自衛隊横須賀地区病院

(院長 大沼良雄君)

当院は一〇〇床の小さい病院ではありませんが、海上自衛隊の病院としては一番大きく、久里浜の海辺に昭和三十一年に新設されたものです。私は開設準備から約四年間病院管理者としてその業務にたずさわってきました。現在内科外科を主にして、自衛隊員を対称として診療を行っておりますが医官の不足は悩みの種です。自衛隊の医官

は概ね部隊の経験を経ることになっていきますので、臨床以上に衛生行政にたずさわる機会が多いと思います。しかし外国留学には毎年若干名が派遣されますので、外国特にアメリカ行きを希望するものであれば比較的容易に望みがかなえられます。私も昨年三カ月間病院管理講習のため渡米させられました。自衛隊の漸増に従って施設の拡充も計られると思いますが、若い同窓生の入隊を歓迎したいところです。

田辺重信君(開業)

六年前に母校で胃を取ってしまいましたので、以来、毎主食一杯限りという次第で昔の元気がありません。その日が送れば結構という営業方針を立ててのんびりやっております。即ち営業四対趣呼六程度の処方方針ですので毎日曜はドライブ、そのうち月一回の日曜に五、六卓集めましての大マージャパン大会を催します。これは本年で十周年となりました。小柴清定先輩、外科の長屋先生など重要なメンバーです。御同好の向きへは何時でも御案内を差し上げます。

日本鋼管病院整形外科

(医長 星野正雄君)

この二、三年來患者数も略固定してきました。全体の約半数は外傷ですが、工場の安全衛生制度が向上して大きな外傷は少なくなりました。近く川崎、鶴見の両病院が合併することになり会社関係のみの患者を診るようになる気配があり、それに伴う人事の問題でんやわんやで落着きません。野崎教授が週一回お出でになり、種々御指導をおおいでおります。目下筋、筋膜性腰痛症に興味を持ち、一〇例に手術を行い約七〇%好結果を得ておりますが、上臀皮神経の方は余りはかどらず研究中です。ゴルフの盛んな工場の幹部が肋骨々折を心配してきますが、未だ骨折例を認めません。最後に目出たい話、柏木君が近く結婚し独身会長を辞めます。多幸を折っております。

川崎市立病院整形外科

(医長 伊藤盈爾君)

定員医師三名ベットの六〇、現在満床で

外来一〇〇名をこえ手不足ですので、近く四名に増員の予定ですが肝腎の医師がなくなっております。新設以来私と苦業を共にした大柳君は父上御病氣のため、本年一月開業し、代りに教室から出張を願ひ新風を吹きこんでいます。もう一人は千葉大卒の井崎君でここでインターンをした人です。病院全体としてのベット数は五〇〇、手術場も検査室も目下新築中で三月中には最新式のもの完備します。これからの発展は吾々の努力次第で、そのつもりで皆頑張っております。

小田原市立病院整形外科

(医長 金井司郎君)

昨年六月末開院以來諸事万端ぼつぼつと動き出しているという程度です。目下は鈴木邦雄君と二人で丁度という位の患者で外来、四〇―五〇、入院二〇です。箱根療養所が近いので大きい手術の時は応援を迎えています。病院全体で現在ベッド数一一〇これから一〇四ばかりの増床が行なわれる予定ですが、小田原とすればその程度で十分かと思われます。慶応からは整形一科で

他は横浜四、千葉一、新潟三という寄合ですが、整形を中心としては連絡はうまく行っている方でしょう。慶応系の中に居てはわからない良い経験もしています。しかし何やら起りそうな徴候なきにしもあらずというところですね。岩原先生が近くに居られなくなったということは大きく影響しそうですが、何時までも頼っているわけにはいかぬと覚悟しています。

横須賀共済病院整形外科

(医長 飛弾清英君)

昭和十七年に森田正朗先輩によって開局された医局を、同二十八年に私が引継ぎ、爾來岩原教授をはじめとし教室の先輩、同僚諸兄の御援助によって大過なく勤めております。医員は新井田君、堀君、山田君(横浜医大より出張)と計四名です。外来患者平均一八〇名、入院患者六五名でなかなか暇ありません。幸い頭健全なことと、ハートナイスなので「楽しく、仲よく」をモットーとして、人並の成績は挙げている積りです。目下診療の外に労働省の委託テーマ「潜水病の臨床検査、動物実験」に大

童です。どんな結果になりますか：：、諸先輩の御指導を仰ぐこと多々あると思いますのでここに重ねてお願いいたします。

田浦共済病院（高木俊夫君）

現在のところ整形外科が独立しておりますが、二、三年のうちに分科独立する予定です。外来六〇―七〇名、入院二五―三〇名、外傷が主です。骨関節結核、椎間板ヘルニヤ等は積極的に手術を行っております。

平塚中南国保病院整形外科

（医長 仲川富雄君）

現在吉田光博君（三〇回）と二人でやっております。院長以下ほとんど慶応です。慶応に居ると同じです。外来五―六〇入院二〇位ですが、近く一〇〇床増えますので入院は増加する見込です。

小田原市立片浦診療所

（所長 江間清君）

東海道線根府川駅前で、保健婦、事務員各一名づつとともに診療にあたっていま

す。午前中、外来、殆んど各科にわたり、毎日平均三〇余名、午後は往診、帰宅後五時半から七時までの間外来、夜は残務整理と毎日毎晩同様のくり返して、夜わづかな時間くつろぐのが何よりも楽しみみです。

国立箱根療養所

（所長 富田忠良）

ベット二二〇、御承知の通り重症脊髄損傷のみです。岩原前所長の伝統をうけて、更に、前進させるために一同努力しています。

群馬地方

小 泉 次 郎

群馬県といえば関東地方の最北端、最も文化に遅れた所と思われていますが、正田美智子さんが現れるに及んで「群馬県にも美人がいるんだね」と全く意外といった顔で色々の人からいわれます。その都度私は「美智子さん級が先づ群馬県では十人並というんだよ」と答えてやります。大抵の人

が眼を円くしますな。本当か嘘か御寸暇の節は上州へも来て見て下さい。赤城山や榛名山、伊香保辺で吃驚するような美人に出会う事があります。それは東京の人かも知れない、と仰有るのですか？ 或はそうかも知れません。

然し群馬県における在住医学部卒業生は九十余名に達し、殊に群馬大学医学部に捧職する先生方が、仲々動かぬ所は確かに何かがあります。美人か、酒か、その方面は私には一寸縁が遠いようです。現職夜間部教授が御出張御調査の必要があります。

私としては専ら風光明媚で行きまじう。紅葉の頃、スキー、スケートの頃の赤城、榛名は全く素晴らしく、東京からこれ程近く、安く便利に来られる場所が他の何処にありましよう。また谷川丘の「まちが沢」という所は、五月六月になってもスキーが出来て、危険もありません。第一景色が良く、カメラを持った人なんかには殊にいいですよ。廿年近くも止めていた私が、昨年からまた年甲斐もなく始めたのですから間違いありません。

余談却説、三四会名簿を開いて会員の主

な町を御披露致しましょう。前橋市には羽生田進(13)が群馬県及び前橋市医師会長兼任で東奔西走の活躍を続けています。他に田中進(19)浅田晃彦(20)筆者小泉(11)がいます。群馬大学医学部には伊東俊夫(8)川合貞郎(13)大根田支寿(18)の諸教授。小此木丘助教授(24)松山研二(26)田中明(26)高崎市には青木大司(9)井上太郎(7)森武司(12)佐藤三樹夫(13)吉田昌尹(24)加藤三郎(18)根岸憲(5)桐生市、赤松常信(1)平禰男(12)伊勢崎市、今井金治(2)成内頼三郎美原博(18)設楽二郎(6)太田市、関根正雄(8)森山成一(9)石川一男(10)榛名町、細谷陟(7)、富岡市、細谷広(3)小泉町、折茂二郎(5)館林市、柏倉健造(9)新井祐太郎(9)荏司荏太郎、岡田明文(15)草津楽泉園、矢島良一(10)以上の諸兄の他にも大変活躍している先生方も数多くいられるのですが、残念なが

ら御顔を存じ上げておりません。またこの他医局在籍の三四会員を加へると総数は百名を越します。群馬県三四会は仲々盛大で、昨秋水上温泉で阿部、前田、植村三教授を御招待して久瀧を敍した次第です。

富山地方

高志学園(富山市)

昭和三二年度富山県立肢体不自由児施設が建設されることに決定して以来、可成りの曲折を経て本年三月竣工致しました。

場所は富山市の西南四料、南にはアルプス連峰を望み、呉羽山の麓の景勝の地五千坪を占め、建坪五二二坪、病室は鉄筋コンクリート、収容定員五〇名、総額四二五〇万円を投入して仲々ガッチリした施設が出来上りました。

県立県営で園長小林録郎(二六回)、職員三〇名です。

各種の機能訓練器械はもとより、レントゲンは東芝の五百ミリ・ロータリックス、

顕微鏡は日本光学の双眼式一五〇〇倍、スライカ、電動骨鋸、ドリル一式及びデルマトーム、其他一流のものを備へ、一寸もったいない様な設備もあります。

二月末に米谷君(三六回)が出張してくれましたので陣容も揃い、竣工検査を待つばかりの状況です。御来遊をお待ち致しております。(小林記)

健康保険高岡市民病院(高岡市)

本院整形外科は昭和二十七年に開設された。当科の設置は渡辺治生院長(四回、外科)の卓見によるもので、北陸地方の病院としては、はじめてのことであった。

初代医長として当科発展のために尽力し県下にその名声を馳せた小林録郎君は、昨年十一月に県立高志学園々長として栄転され、後任の野間が遺された地盤を守り育てることに努力している。

現在では当科創設の頃と違って、富山市の県立中央病院、市民病院、日赤病院、礪波市の礪波厚生病院、黒部市の黒部厚生病院、滑川市の農協滑川病院、高岡市の農協高岡病院、更に隣接の金沢大学、国立金沢

病院にも整形外科が設置され、各病院競争でやっているから、これからの発展には一層倍の苦勞が必要だろう。

本院整形外形には学童入院患者に対する教育施設があり、これが一つの特色にもなっている。「こまどり学級」と名付けられ渡辺院長小林医長の肝入りで昨年六月発足したもので、付近の有名中学校及び小学校からそれぞれ一名宛の教師が配属され、就床患者にはベットサイドで、歩行可能者には教室で授業を行っており、中学校の教育課程を終了すれば卒業証書を交付出来る制度になっている。現在では未だ一般病室の一部を使用しているが、今年度以降千数百万円を投じて、定員三〇名を目標に専用の建物を病院構内に造築し、内部には病室、色々の教室、看護室、教員室、保母室、診察室、機能訓練室、物療を兼ねた浴場等を設ける予定である。

本院の診療科目

- 内科、外科、整形外科、皮膚泌尿科、小兒科（金大）、眼科（金大）、耳鼻科、

総ベット数 約二五〇

整形外科陣容

野間清邦（二三回）、齋藤正也（専四）

野村直弘（東邦大）。マッセル四名

（野間記）

福井地方

医療法人林病院（武生市）

昨年から整形外科が新設され、岡崎陸夫君が院長として活躍しています。院長は林一治先生、診療科目は内科、外科、整形外科で総ベット数一〇〇床です。

福井県下で本院の他に整形外科を置いている病院は日赤福井病院（京大系）、国立鯖江病院（金大系）、福井県立病院（新潟系）田中病院です。（野間記）

山梨地方

河口湖医院（個人開業）

山梨県南都留郡河口湖町船津

院長 権守 英夫（15回生）

風光明媚の河口湖畔にて一般科を開業され盛大にやっております。

長野地方

信濃整肢療護園（民立民営）

諏訪郡諏訪町高木

園長 井上 雅夫（20回生）

副園長 小野里一郎（同窓会員）

昭和三十二年設立、ベット数六〇、医師三名、基準給食、基準看護、基準寝具。小中学校分校併設。

長野県における肢体不自由児施設として県内不自由児の療育を行い、常に満床の状況にて目下一〇〇床に増床の計画。諏訪湖を一望のもとに見渡せる高台にあり、湖畔より温泉を引湯して室内温泉プールを設け、機能療法を行っているのが特色。

上諏訪病院（私立）

諏訪市上諏訪大手町

院長 井上 武彦（12回生）

副院長 井上 雅夫（20回生）

ベット数六〇、温泉街中にあり、更生、育成医療、指定医療機関（肢体不自由）と
なっており、その他内科、神経科、婦人科
外科が併設されている。医師五名、内四名
は三四会員。

白田整形外科（私立）

小諸市大手町

院長 白田 正雄（9回生）

ベット数十八、更生、育成医療の指定医
療機関（肢体不自由）となっており、浅間
山麓佐久地方の患者を一手に引受けて盛大
に開業されている。

篠原医院（個人開業）

南佐久郡佐久町

院長 篠原 勝（18回生）

終戦以来郷里で一般科を開業され、信望
を一身にあつめておられる。

（以上井上雅夫記）

四 国 地 方

街の庭には梅と彼岸桜が同時に咲き郊外
に出ると黄色の菜種が薫風にゆれつつ、春
を吹歌している。二月下旬の土佐です。四国
地区の近況と申ししても特筆すべき事は
ありませんが、昨秋には岩原教授が脳神経
外科学会の帰途夫人御同伴で数年ぶりに帰
省せられ将来の整形外科のあり方、病院運
営の妙等種々御指導を頂き又患者の御高診
等もお願ひした事でした。

当地在住の医学部出身者は開業勤務医合
せて六名機会ある毎に親交を重ねつつ市内
に郡部にそれぞれ活躍発展しています。こ
の中整形外科二名、窪川町の武田智君と私
です。整形外科の同窓は四国で唯二人淋し
い事です。もっとも同窓諸兄が関西西四
国方面へも進出して頂きたいものと思いま
す。武田君が開業された窪川町は山間の田
舎町ですが土讃線の終着駅であり、交通の
要衝に当る仲々活気のある町です。ここに
近代的名明い病院を新築せられ長年に亘
る教室での研究と豊富な経験を活かし、同
君の人徳と相俟って開業早々非常な好評を
博しています事は御同慶に耐えません。

高知県は山ばかりで交通不便な処ですが

林業、ダム工事等が盛んに行なわれこれ等
による災害が相当多く労災の療養費は全国
でも上位に位するそうです。モーター、バ
ス等による交通事故も年々増加して居り、
地方保健所保健婦等の活動によって育成医
療も各地に利用者が増加しつつあります。
県下数多くの個人病院の中で唯一の小院が
育成医療の指定を受けています。教室の名
をばつかしめないよう精々努力していま
す。

昨年は思わぬ病気のため長期間に亘って
教室へ大変御迷惑をかけましたがその後は
お陰様で元気にやっています。簡単ですが
右近況御報告申し上げます。（畠中記）



慶応義塾大学医学部整形外科同窓会々員名簿

名誉会長

前田和三郎

慶応義塾大学教授

国家公務員共済組合会立川病院々長

自宅 三鷹市牟礼二二八〇 Telephone 武蔵野四九三九

会長

岩原寅猪

慶応義塾大学教授

自宅 世田ヶ谷区世田ヶ谷二の十三三三五 Telephone (四七二)七〇五〇

鳥山町一五三八

名誉会員

前田友助

前田外科病院々長

港区赤坂伝馬町一の二〇前田外科病院 Telephone (四八)五二五五

自宅 千代田区麴町三番町二四 Telephone (三三三)三九九〇

氏名	卒年	卒校	職名	A 勤務地	B 現住所	電話
1 桂 秀三			故人	BA 同 中野区橋場町三四		中野一七七三
2 小坂 慶夫			開業			
3 高木 宗吉		1	故人			
4 石田 忠治		新 専 滷	開業	BA 同 福島県双葉郡双葉町新山		
5 村 上 晋			故人			
6 関口 林五郎			開業	BA 前橋市北曲輪町六八		前橋三〇七七 前橋六一五〇
7 栃 原 潤		5	孀恋病院々長	BA 同 群馬県吾妻郡孀恋村三原		三原二〇 三原二
8 亘理 祐邦		5	開業	BA 同 宮城県亘理町		
9 山内 吉雄		5	開業	BA 文京区戸崎町一		(92)二六〇・二六三 (92)四七二・六
10 弓 削 中		7	開業	BA 同 宮崎市上野町三の八		宮崎三五一一
11 堀田 善二郎		8	故人			
12 武藤 春雄		9	故人			
13 臼田 正雄		9	開業	BA 同 長野県小諸市大手町		小諸四八三

14	成内 顯三郎	9	伊勢崎病院々長	BA	群馬県伊勢崎市幸町一〇 群馬県伊勢崎市住吉町一三	伊勢崎三〇・三二 伊勢崎四二・四四
15	竜野 一雄	10	開業	BA	文京区春木町二の二一	(92) 四七一四
16	野崎 寛三	10	東京医科大学教授	A	新宿区柏木一の五三	(37) 〇三・六四・ 三四二
17	畠中 卓助	10	開業	B	目黒区上目黒五の二六八六	(71) 〇八二五
18	伊藤 原	11	都立大久保病院整形外科医長	BA	高知市追手筋五七	高知(2) 一三四七
19	小泉 次郎	11	開業	BA	新宿区西大久保一の四六一 中野区大和町八四	(35) 六一〇一
20	長坂 謙三	11	故人	BA	前橋市紺屋町四〇	前橋四八五四
21	郭 在禮	11	開業	BA	釜山府榮町	
22	大内 正夫	12	開業	BA	台東区浅草柳橋二の三七	(85) 一九七〇
23	森田 正朗	12	国立東京第二病院整形外科医長	BA	同 目黒区大原町	(41) 〇一一一 (44) 四五七九
24	運江 信行	13	埼玉療育園々長	BA	埼玉県大里郡寄居町大字象ヶ鼻一七の一 埼玉県飯能市柳原一五一	寄居三三一 飯能四六・五六
25	高橋 哲二	13	柳田病院	BA	同 川口市本町一の一一一	川口四一七〇
26	左奈田 幸夫	13	国立世田谷病院副院長	BA	世田谷区太子堂町一二 世田谷区代田二の八五三	(42) 五一八一―四 (32) 〇八三〇

27	加納保之	14	客員教授、晴風荘医務課長	BA	茨城県那珂郡東海村村松 晴風荘	東海二五
28	西平加健	14	都立台東病院々々長	BA	台東区浅草千束町二の四七七 杉並区和田本町一〇四二	(84)五三二〇
29	小柴清定	14	田無病院々々長	BA	北多摩郡田無町二九六六 新宿区西落合一の二六四	武蔵野区田無(95)四五二九
30	富田忠良	14	国立箱根療養所々々長	BA	小田原市風祭四一二 世田谷区玉川奥沢町二の三一三	小田原三六三二七 (72)〇三三〇
31	中井慎一	満大	東大寺整肢園々々長	BA	奈良市東大寺境内町	奈良五五七七 奈良五五一一
32	遠山一郎	15	埼玉療育園	A	埼玉県大里郡寄居町字藤田大字象ヶ鼻 一七九の一	寄居三五一
33	川辺重信	15	開業	B	中野区江古田一の二〇五四	綱島二六六
34	大沼良雄	15	海上幕僚監部衛生課	BA	横浜市港北区太尾町二五七	
35	権守英夫	15	開業	B	川崎市木月一の二七七Bの九	船津一五二
36	渡辺重男	15	開業	BA	山梨県南都留郡河口湖町船泊船津	
37	西新助	15	東邦大学教授	BA	岐阜市千手堂中町二丁目二五	岐阜(2)〇七〇八
38	松本源一	16	開業	BA	大田区大森五の六二 中野区桜山町一一	(76)八一五一
39	堀越恒	16	医療法人積善会栃木地方病院々々長	BA	平市北目町八	平四六一七
				BA	栃木市大町七	栃木二二二

54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40			
神野友次	飯谷辰雄	飯塚積	篠原透	鈴木正弘	野間博	伊藤盈爾	稲留秀彦	久保宗人	篠原勝	千秋晋	服部宣	森田盛祿	浅賀武夫	星野正雄			
20	20	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	京城大	17	16			
国立松戸療養所医務課長	故人	濟生会中央病院外科医長	故人	開業	日本専売公社東京病院整形外科医長	市立川崎病院整形外科医長	開業、研究生	国立大藏病院	開業	故人	開業	国家公務員共済組合連合会立川病院整形外科医長	故人	日本鋼管病院整形科医長			
BA 同	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA			
同 松戸市高塚新田一二八	港区芝赤羽町一五九	目黒区柿木坂二五九	山形県寒河江市大字寒河江甲二九〇	港区芝赤羽三	目黒区富士見台一五六五	川崎市上新川通七〇	川崎市上平間一二二一	千代田区神田亀住町一八	世田谷区大藏町一五一	東京都町田市本町田四〇〇八	長野県南佐久郡佐久町大字高野町三九六	同	豊島区駒込三三八〇	立川市錦町四の一	杉並区西田町二の四一六	川崎市大島町一―二八二〇	豊島区西巢鴨二の二五七〇
市川三五六一	(784) 八二一―一七 三五八五	(784) 八二一―一七 三五八五	寒河江三七	(45) 八一〇―一九	川崎(3) 五三―三	(83) 八〇七一	(41) 七二八―七六四	高野町三〇	(982) 三〇一六	(398) 一四七一	立川三一三一	(982) 五四九二	川崎(3) 五五二―三	(982) 五四九二			

68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55
木城卓二	泉田重雄	星幸男	野口好之	川瀬岸枝	永井隆	堀英一	間中てる子	池田亀夫	野町穉雄	日比義行	久保義信	井上雅夫	松村豊
23	23	23	10	東京女子医専	22	22	東京女子医専	21	21	21	20	20	20
開業	講師	花園橋病院外科医長	東京歯科大学教授	開業、研究生	東京医科大学助教授	故人	開業	助教	故人	故人	国立村山療養所整形外科医長	1、信濃整肢療護園々長 2、上諏訪病院副院長	故人
BAA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BAA	BAA
同 2、水戸市並松町西元水戸整形外科病院 茨城県鹿島郡銚田町北浦病院	慶大整形 浦和市別所一八三五	横浜市南区山下町二二四 横浜市南区南太田町三の二六七	市川市菅野町六の一九一〇 港区芝白金町志田町八〇	同 中野区本町通三の二〇	新宿区柏木一 目黒区柿ノ木坂二七七	同 茨城県猿島郡岩井町	同 慶大整形 中野区永川町一〇	同 北多摩郡村山町中藤三二六〇 杉並区上高井戸五の二一三七	同 1、諏訪郡下諏訪町高木 2、諏訪市大手町三	同 下諏訪八四一四 諏訪六五・六五	村山三三・四四 (39)四七六〇		
水戸六六七三 銚田五七	浦和三七五二	横浜(8)五〇一一	(37)〇三・六四・六四 (71)三〇〇三			岩井一	(36)〇二七九						

82	81	80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69
遊木三郎	上牧恭一	家田達之	山口義臣	金井司郎	田中一雄	寺村正	崎谷文男	浅葉義一	野間千賀子	島田勝夫	斎藤祐吉	野間清邦	黒水啓一
21	23	22	24	24	24	24	24	23	東京女子 医専	23	23	23	23

開業	都立荏原病院整形外科医長	開業	東京電力病院整形外科医長	小田原市立病院整形外科医長	済生会中央病院整形外科医長	都立大久保病院整形外科	開業	国立埼玉療養所整形外科医長	故人	開業	健康保険高岡市市民病院副院長	開業
----	--------------	----	--------------	---------------	---------------	-------------	----	---------------	----	----	----------------	----

BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	B	BA	BA	BA	
同	品川区大井山中町四二九七	同	新宿区信濃町九の二	小田原市久野七の三病院住宅一三三三	港区赤羽町一	新宿区西大久保一の四六一	同	同	同	同	品川区大井倉田町三四三四	同	同
新宮市新宮取出九九九	品川区石ヶ谷町八九五七	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

新宮七八八	(78) 六〇五一―五	(39) 一〇八七	(35) 七二二―一五	小田原三五―八	(594) 八二一―一	(35) 〇六〇―一	大市六・飾西函	蓮田五二・五四	(71) 三〇一九	高岡三〇四・五二	宮崎三〇六五
-------	-------------	-----------	-------------	---------	-------------	------------	---------	---------	-----------	----------	--------

96	95	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83
岩瀬守広	春日秀彦	菊野光郎	今井銀四郎	柏木武	菅野卓郎	宮本銚造	岡田衛生	瀬尾喜郎	小林録郎	今中欣一	松林忠徳	飛弾清英	小野正治
専2	28	28	28	27	27	27	26	新 医 専 濁	26	26	日 医 大	20	11

汐田診療所
 横須賀共済病院整形外科医長
 国立箱根療養所医務課長
 済生会宇都宮病院整形外科医長
 富山県立高志学園々長
 開業、研究生
 国家公務員共済組合連合会立川病院整形外科、研究生
 静岡赤十字病院整形外科医長
 国立栃木病院整形外科医長
 日本鋼管川崎病院整形外科、助手
 国立箱根療養所
 東邦大学講師
 国立東京第二病院整形外科、助手

B 横浜市鶴見区菅沢町四九九
 BA 横須賀市米ヶ浜通り一の一六
 BA 横須賀市上町二の二九
 BA 小田原市風祭四二〇
 BA 小田原市風祭五七二療養所官舎
 BA 宇都宮市旭町
 BA 渋谷区大山町二
 BA 富山市寺町
 BA 高岡市池之端町一の一七
 BA 沼津市上土町一四の三
 BA 同
 BA 立川市錦町四の一
 BA 豊島区長崎一の三七
 BA 静岡市追手町四一七
 BA 静岡市安東三の一七
 BA 宇都宮市戸祭町九三一
 BA 世田谷区代田一の七八七羽根木荘
 BA 川崎市大島町一の二八二〇
 BA 新宿区坂町八鈴木方
 BA 小田原市風祭四一二
 BA 小田原市風祭五六六
 BA 大田区大森五の六二
 BA 品川区西中延一の一四〇塚田方
 BA 目黒区大原一二二四
 BA 世田谷区玉川等々方町一の二九の三
 B 品川区上大崎五の六三九

横須賀二七一〇
 横須賀二二一一
 小田原三六三三七
 宇都宮三二五三三
 (46)四九九八
 富山(3)一五五六
 沼津四三〇一
 立川(25)三三三一
 (95)五八六七
 静岡(2)三一五一
 宇都宮五四一六
 川崎(3)五五九一
 小田原三六三三七
 (7876)八一五一
 (一八五九)
 (41)〇一一一
 (49)〇二一一

109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97
高瀬佳久	佐藤昭一	新井田 覚太郎	藤原由利夫	阿部 恒夫	鈴木 進	小川 正三	植 草 実	鳥 羽 和博	岡崎 睦夫	野町昭三郎	山 口 恒	蕪 木 初枝
専 3	専 3	専 3	専 3	専 3	29	29	15	北 大	医 専 山	22	医 専 淵	子 医 専 女
国立栃木病院整形外科、研究生	水戸整形外科病院副院長、助手	横須賀共済病院整形外科、研究生	社会保険埼玉中央病院整形外科 医長	助 手	助 手	永寿病院整形外科医長	講 師	開 業	林病院整形外科医長	国立塩原温泉病院々々	国立塩原温泉病院	国立村山療養所整形外科

BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	
宇都宮市戸祭町九三一 宇都宮市戸祭新川町二	水戸市並松町一四二八 同病院内	横須賀市米ヶ浜一の六 横須賀市田戸台一五	浦和市北浦和町四の二六 浦和市文蔵一九〇〇	慶大整形 文京区駒込込追分町三〇	慶大整形 小田原市風祭四一三	台東区南稻荷町一一四 横浜市鶴見区鶴見町三八花月荘	慶大外科 武蔵野市西窪三四五	同 豊島区池袋一六一三	福井県武生市北吾妻町 武生市旭町一六	同 官 舎	栃木県塩谷郡塩原町国立塩原温泉病院	同 官 舎	東京都北多摩郡村山町中藤三二六〇 東京都南多摩郡日野町大坂上六四五一

宇都宮五四一六 宇都宮六六九七	水戸六六七三	横須賀二七一〇	(088) 三七七・三七九・三六六	小田原三六・三七	(83) 一一二六一	(97) 三七〇八	塩原三五・四	塩原三五・四	村山三三・四四
--------------------	--------	---------	----------------------	----------	---------------	--------------	--------	--------	---------

122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110
小林真杉	松尾久男	山口昭男	土田精一	鈴木邦雄	斉藤正也	小林祥悟	鷲谷澄夫	桜田允也	仲川富雄	森雅文	松浦泰	武田智
阪大	26	医横 専浜	医鹿 専鳥	専 4	専 4	専 4	30	30	30	30	九大専	医横 専浜
開業、研究生	開業	済生会宇都宮病院整形外科、研究 生	助手	小田原市立病院整形外科、助手	助手	厚生連魚沼病院整形外科医長、 助手	赤心堂病院整形外科医長	足利赤十字病院整形外科医長	中南国保病院整形外科医長	栃木県真岡市芳賀赤十字病院整 形外科医長		開業
BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	B	BA
同 川崎市南寺町二の八〇	同 北多摩郡国立町東区八八の一	宇都宮市旭町一の三四二六 宇都宮市西原町大谷通二六七二高橋方	慶大整形 渋谷区原宿二の一七〇の二六	小田原市久野四六 小田原市久野三三三市立病院住宅三四	慶大整形 新宿区百人町四の四二〇R・G二四	同 小千谷市本町四丁目	川越市脇田町 渋谷区幡谷笹塚一〇六七	足利市本城三の二一〇〇 足利市伊勢町二二一	平塚市平塚一四四九 平塚市花水台三一四	栃木県真岡市台町三二二三の一 栃木県真岡市台町三二二三の一	渋谷区美竹町四一	同 高知県高岡郡窪川町本町
川崎(2)二二五六	国立六一二の乙	宇都宮三三三 宇都宮二六〇〇	(40)五七九八	小田原三三五六		小千谷四三四	川越一一八一	足利四一九一 足利二八二二	平塚九三九			

135 小山明
 134 大谷孝雄
 133 今井望
 132 高橋昭
 131 高木俊夫
 130 多田実
 129 川久保幹彦
 128 榑田喜三郎
 127 松井明
 126 増野宏
 125 小暮巽
 124 木住野喜義
 123 金成俊男

32
 32
 32
 医広専 医松専 北大 医昭大 医京都府 新大 専3 31 31 28

川崎市立病院整形外科、助手
 葛生町立病院、整形外科医長助手
 助
 助 手
 田浦共済病院、研究生
 国立箱根療養所、研究生
 開業
 助 手
 助 手
 助 手
 助 手
 東京電力病院整形外科、研究生

BA BA

川崎市新川通七〇
 横浜市神奈川区白幡南町一八
 枋木県安蘇郡葛生町葛生二六五八
 台東区浅草寿町三の一六
 慶大整形
 品川区東戸越五の六五
 慶大整形
 大田区馬込東四の二六七宮本方
 横須賀市船越一の五
 横須賀市船越一の五
 同
 小田原市風祭四一二
 同
 浦和市高砂町五の一一二
 同
 杉並区天沼一の七四
 慶大整形
 慶沢市辻堂五六三六神田方
 慶大整形
 台東区茅町二の一三
 慶大整形
 波谷区代々木大山町一〇六二
 慶大整形
 北多摩郡国立町東区二九の二四
 慶大整形
 新宿区信濃町九
 横浜市港北区日吉公園住宅三四号の一

川崎(3) 基三十三
 (49) 九〇八二
 葛生一三九
 (87) 四九〇四
 田浦三三六一三
 (0686) 四三三三
 小田原一八三
 浦和四三六九
 (398) 六二二一
 藤沢八八三四
 (82) 四五四三
 (368) 三一六七
 国立四七五(乙)
 (53) 七二二一五

148	147	146	145	144	143	142	141	140	139	138	137	136
吳喜泉	吉田光博	大柳裕	武井廉平	王鍾毓	上石英明	江間清	奥村守彦	町田圭弘	門井一郎	山内健嗣	中村洗	道山新一
東京女子 医専	30	医新 専瀧	医大 大阪	33	33	23	日大	大阪大 立大	専4	32	32	32
開業	助手	開業	助手	助手	助手	小田原市立片浦診療所長	日本専売公社東京病院整形外科		門井外科整形妇科医院	福島整肢療護園、助手	助手	開業
B	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA
台湾台東県台東鎮中正里中正路一〇八	慶大整形 藤沢市辻堂西海岸六三三三齋藤方	横須賀市不入斗町三十五	慶大整形 三鷹市牟礼三二二井の頭荘内	慶大整形 杉並区高円寺二の九一	慶大整形 杉並区高円寺三の二二五白石方	同 小田原市根府川七七	港区芝三田功運町二七 同官舎	安芸市西浜	同 世田谷区太子堂町五八	平市中平窪古館一の二 平市杉平一九の一〇鈴木方	慶大整形 新宿区西落合一の二九六長井方	同 佐野市朝日町七〇二
	藤沢八五三四		(022) 八二四八	(311) 一三二二		小田原一・二〇一 根府川二四の二	(45) 六三十九 (45) 二九四一		(42) 五四〇・三四五	平三四八九	(95) 五三八〇	佐野六三五

161	160	159	158	157	156	155	154	153	152	151	150	149
林 静 馬	中 村 明 訓	三 宅 詢	沖 永 明	谷 田 部 貞 男	新 井 凜	山 川 博 夫	宇 井 恵 治	辻 啓 一	野 口 朝 生	中 西 東	村 上 宝 久	小 野 里 一 郎

熊 大	医昭 大和	医鹿 兒島	熊 大	群 大	医日 大本	34	34	34	34	34	34	新 大
--------	----------	----------	--------	--------	----------	----	----	----	----	----	----	--------

宇都宮済生会病院整形外科、助手	助 手	助 手	助 手	助 手	大 学 院 学 生	助 手						
-----------------	--------	--------	--------	--------	-----------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

BA 慶大整形 宇都宮市一の沢町二四〇	BA 慶大整形 川越市野田町一四三	BA 慶大整形 中野区川添町二五鈴木方	BA 慶大整形 府中市北見町一三七八三菅原方	BA 慶大整形 北区滝野川六の四五飯野方	BA 慶大整形 北区王子町一の二〇	BA 慶大整形 渋谷区稲田一の一青山アパート五の窓	BA 慶大整形 千葉市椿森町四五	BA 慶大整形 新宿区西大久保二の二三五	BA 慶大整形 新宿区大京町九	BA 慶大整形 中野区鷺宮一の三〇	BA 慶大整形 渋谷区氷川町四四オマタ荘	BA 慶大整形 高崎市石原五九四
---------------------------	-------------------------	---------------------------	------------------------------	----------------------------	-------------------------	---------------------------------	------------------------	----------------------------	-----------------------	-------------------------	----------------------------	------------------------

川越一一一四(呼)

(96)〇五六九

(408)〇八一七

(35)七八四一

(40)〇六六七

174	173	172	171	170	169	168	167	166	165	164	163	162
米谷晴夫	小林進	藤野豊美	矢部裕	野末洋	鈴木完	堀健司	上条信次	谷口修	浅野実	結城栄一	月村泰治	近藤啓
36	36	36	36	36	16	群大	九州高等医専	昭和大	東京歯科医専	35	35	金沢医専

富山県立高志学園、助手	助手	助手、渡米中	大学院学生	大学院学生	市立清水総合病院副院長	横須賀共済病院、研究生	浜松赤十字病院、研究生	国立栃木病院整形外科、研究生	多摩全生園歯科医長、研究生	東大整形外科	福島整肢療護園、助手	助手
-------------	----	--------	-------	-------	-------------	-------------	-------------	----------------	---------------	--------	------------	----

BA	BA	BA	BA	BA	A	BA	BA	BA	BA	BA	B	BA	BA	
富山県富山市寺町高志学園内官舎 目黒区上目黒五の二三五〇	慶大整形 杉並区大宮前六の三七六駒村方	慶大整形 Wisconsin Univ, Hospital. c/o Univ Hospital Madison 6, Wisconsin	慶大整形 埼玉県上尾市大字原市二二五三	慶大整形 港区赤坂青山北町四の一〇六	清水市松原町二の一	横須賀市米ヶ浜一の一六	横須賀市田戸台四〇	浜松市高林町八〇	浜松市助信町一二	宇都宮市中戸祭町	栃木県塩谷郡高根沢町宝積寺一〇三八	北多摩郡東村山町南秋津一六五五	練馬区下石神井二の一四四五	豊島区池袋一の六九六川内方

(97)二二八九
 平三三八九
 (32)〇二三三
 (029)三二四二
 宇都宮五四一六
 宝積寺五
 浜松(3)一一五六
 横須賀二七一〇
 (40)二五八一

185	184	183	182	181	180	179	178	177	176	175
富田恭弘	大谷清	伊勢亀富士朗	細川昌俊	林田基	花岡英弥	田辺雅久	赤坂勁二郎	工藤一彦	松尾庸也	櫛引柳太郎
37	37	37	37	37	37	37	37	岩手 専手	岩手 専手	岩手 専手
助手	助手、渡米中	助手、渡渡米	助手	助手、渡米中	助手、渡米中	大学院学生	大学院学生	青森県衛生労働部保険課、 羽幌炭坑鉄道病院整形外科外科 部長	岩手県川井中央診療所外科整形 外科医長	開業、研究生
BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	BA	B	BA	B
慶大整形 港区芝下高輪五七	慶大整形 Honolulu Kuakini Hosp.	慶大整形 Samaritan Hosp. Troy, New York	慶大整形 新宿区北山伏町三二	慶大整形 The Hahneman Medical Collage and Hospital. 230. North Broad Street Philadelp hia 2. Pa.	慶大整形 Sacred Heart Hospital Spokane, Washington. U.S.A	慶大整形 川崎市宮前町三八	慶大整形 渋谷区代々木二の七	北海道苫前郡羽幌炭坑鉄道株式会社、 青森県東津軽郡野内村大字浅虫字螢谷	盛岡市中の橋通り	青森県西津軽郡深浦町北金ヶ沢塩見形 二〇の一

(44)〇三八七

川崎(2)四二八〇

189	188	187	186
相川寛久	高橋謙作	大河内一郎	渡辺達雄

東京歯科 医専	日本 大本 医	37
------------	---------------	----

開業、 研究 生	齒科開業・ 研究 生	福島整肢療 護園々長	助手、 渡米中
----------------	------------------	---------------	------------

BA	BA	BA
同	小田原市 緑四の五 五四	平市中平 窪古館一 の二
		慶大整形 Honolulu Kuakini Hosp

平三四八九

編集後記

☆ 昨年八月幹事会で誌発行の話が具体化し、十月に総会で決つてから満一年の才月が流れて慶応義塾大学医学部整形外科同窓会誌創刊号は將にこの世に生れようとしている。

☆ 生れる迄の一年間種々なる迂余曲折があった。本年一月二十四日第一回編集会議が富田幹事長以下山口・仲川・小川幹事以下A・U・Y同窓会係出席のもの開かれ、発行期日三月末日を目標にして滑り始めたのである。形態はA五刊50頁・内容は現会誌プラス座談会・一年間の医局の現況・漫画・画・文芸寄稿等盛沢山なものであったが、先ず寄稿と地方便りが集まらず、次いで座談会が「つづれ、何時の間にやら目標の期日は過ぎてしまつていた。六月二十七日の第三回編集会議で稿を練り直し、同窓会総会迄には完成すべしとの決意を新にした。この間医局長の更迭を始めとする人事の変遷・夏休み等の事項が加わつて日時は容赦なく過

ぎて行った。

「同窓会誌は出来ませうか。」

九月始め頃部長に云われた時は総会期日迄あと一ヶ月を余すのみであつた。論文でも雑誌でも同じだが、人間には慾がある。よりよいものを作らんとすれば日時が遅れ、次いで完璧なるものは仲々出ない事を悟り、遂には机上に投げ出したままにしておく。そして時期が迫つてあわて出す。こんな「Verlauf」をたどつて集つたものだけを編集し、ともかく生れようとしている。

☆ 会誌冒頭前田名誉会長は「与えられた職場に忠実なれ」と述べている。編集に當つたA・U・Y三係は会誌編集発行の職に忠実たらんとしたがその意憤は否めない。しかし予定なるものは凡そ遅れるをもつて凡夫の常とする。遅れたが故にアンケートの近況は遠況となつたし、地方便りにしてもその後の人事の変動の為オカシイ部分が出て来ている。凡夫に免じて乞御許。

☆ こんな創刊号……決して完璧なもの

ではない。チャチなものではあるが作つた本人にとつてこれを手にした時程嬉しい事はない。將にその時は訪れんとしている。

☆ 一応総ての編集が終つてみると、頭がボーとしていて何もまとまつたものは浮んで来ない。しかし創刊号に載せたかった事で成し得なかつたのは、先ず第一に一年間の医局の行事の記録である。学会・研究・人事・医局旅行・医局對抗野球試合・新入医局者紹介・コンファレンス雑録・外来・病棟・当直日誌等の集録である。第二に一定の企画に沿つた……例えば座談会とかシンポジウムとかの集録、そして更に同窓会員の趣味・娯楽等を主体にした柔かい話。文芸作品等々々☆ チャチなものではあつても一応50頁を超え、所期の目的は達した。前田・岩原先生を始め、寄稿にアンケートにこそよく原稿を寄せて下さつた会員諸兄に深謝する。そして第二号にも創刊号に倍する原稿を寄せられる様又会費納入も御忘れなき様御願ひして筆をおきます。



日本新薬

疼痛性炎症性疾患に

アミノプロピロンとアミノピリンの 見事な相乗効果で 鎮痛消炎作用が一段と強化され副作用の心配がなくなりました。神経痛、ロイマチスの治療を始め各科に於ける術後の疼痛の除去等に 連用や大量衝撃的投与を可能とした製剤です。

〔文献送呈〕

アミノピロ

〔健保適用〕

顆粒 25g, 100g
注 (5CC) 5A, 50A
錠 (糖衣) 100T, 500T

日本新薬株式会社

京都市南区西大路八条下ル

東京、大阪、京都、札幌、名古屋、福岡、富山

故郷

慶応義塾大学医学部
整形外科同窓会誌

創刊号

昭和三十四年九月二十五日 印刷
昭和三十四年十月 四日 発行

編集兼発行人 富田 忠良

東京都千代田区内幸町二の十八

印刷所 株式会社 電通印刷所

電話 (59) 二二三六 (代)

東京都新宿区信濃町三五

発行所 慶応義塾大学医学部
整形外科教室同窓会

振替口座番号 東京一四二九八二

加入者名 慶応義塾大学医学部

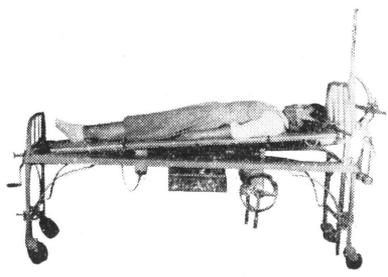
整形外科同窓会

〔非売品〕

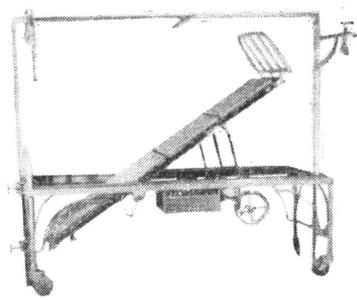
祝同窓会誌発刊

慶大式牽引寝台

慶応義塾大学医学部整形外科学教室
岩原寅猪教授御指導



牽引使用状態の一例

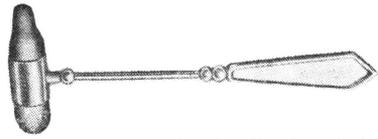


構造応用展開使用の一例

岩原、山口式 股脱用可能椅子

(カタログ謹呈)

S.M.Z 新型打診器



整形外科・外科・神経科領域に於て御好評を得ております

使命に忠実なる S.M.Z の製告

合名会社 志 水 商 店

代表社員 志 水 晴 雄
東京都文京区本郷5丁目1番地
電話小石川(92) 5975, 8587
振替東京 107403番



副作用なく…全身投与できる
 静脈用・新止血剤です

トロスチン

組成

牛脳の組織性トロンボプラスチンから抽出した純粹の磷脂質を1管中25mg含有します。

特長

☆トロスチンは血小板因子作用とトロンボプラスチン生成促進作用をもち、トロンピンに協同的に働いて凝血時間を短縮します。
 ☆静脈内に投与されてのち、血液で稀釈されはじめて強力な止血作用をあらわします。
 ☆また、血管壁にも作用して著しく止血効果を高めます。
 ☆発熱性、抗原性、毒性、血栓形成などの副作用がなく、安心して全身投与できます。

適応症

紫斑病、血友病、再生不良性貧血及び白血病などの出血性素因、胃腸内出血、消化器の外傷性或は潰瘍性出血、脳出血、咯血、吐血、腎出血、手術時の出血及び出血予防処置など。

包装

5cc 5管入…………… ￥ 650

〔文献送呈〕

東京都日本橋本町 中外製薬株式会社



中外製薬

